

資料編

---

# 資料 1 指定等文化財一覧

資料 1-1 国指定文化財一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
N1	国宝 絵画	絹本著色 普賢延命像	1 幅	平 安	松尾寺	字松尾	M35. 4. 17 S27. 11. 22	
N2	重文 建造物	舞鶴旧鎮守府水道施設	1 構	明治・大正	舞鶴市	字与保呂・北吸	H15. 12. 25	
N3	重文 建造物	舞鶴旧鎮守府倉庫施設 舞鶴海軍兵器廠魚形水雷庫 舞鶴海軍兵器廠予備艦兵器庫 舞鶴海軍兵器廠彈丸庫並小銃庫 舞鶴海軍兵器廠雜器庫並預兵器庫 舞鶴海軍需品庫需品庫 舞鶴海軍需品庫需品庫 舞鶴海軍需品庫需品庫 附舞鶴海軍兵器廠第三水雷庫	7 棟 附 1 棟	明治・大正	舞鶴市 〃 〃 〃 文部科学省 〃 〃 舞鶴市	字浜・北吸	H20. 6. 9	
N4	重文 建造物	行永家住宅主屋 附家相図 道具藏・新藏 附味噌藏・米藏・道具藏	1棟 附1枚 2棟 附3棟	江 戸	個 人	字小倉	S50. 6. 23 H15. 12. 25	
N5	重文 建造物	金剛院塔婆（三重塔）	1 基	室 町	金剛院	字鹿原	T6. 4. 5	
N6	重文 絵画	絹本著色 薬師十二神将像	1 幅	南北朝	金剛院	字鹿原	M36. 4. 15	
N7	重文 絵画	絹本著色 孔雀明王像	1 幅	鎌 倉	松尾寺	字松尾	M42. 4. 5	
N8	重文 絵画	絹本著色 法華曼荼羅図	1 幅	鎌 倉	松尾寺	字松尾	S54. 6. 6	
N9	重文 絵画	絹本著色 如意輪観音像	1 幅	鎌 倉	松尾寺	字松尾	H7. 6. 15	
N10	重文 絵画	絹本著色 終南山曼荼羅図	1 幅	鎌 倉	松尾寺	字松尾	H15. 5. 29	
N11	重文 彫刻	木造 毘沙門天立像	1 軀	平 安	興禅寺	字多門院	T15. 4. 19	
N12	重文 彫刻	木造 阿弥陀如来坐像	1 軀	平 安	金剛院	字鹿原	M36. 4. 15	
N13	重文 彫刻	木造 増長天立像 木造 多聞天立像	2 軀	平 安	金剛院	字鹿原	T14. 8. 25	
N14	重文 彫刻	木造 阿弥陀如来坐像 木造 薬師如来坐像 木造 釈迦如来坐像	3 軀	平 安	圓隆寺	字引土	T15. 4. 19	
N15	重文 彫刻	木造 不動明王立像 木造 毘沙門天立像	2 軀	平 安 鎌 倉	圓隆寺	字引土	T15. 4. 19	
N16	重文 彫刻	木造 深沙大将立像	1 軀	鎌 倉	金剛院	字鹿原	M43. 4. 20	
N17	重文 彫刻	木造 執金剛神立像	1 軀	鎌 倉	金剛院	字鹿原	M43. 4. 20	
N18	重文 彫刻	木造 金剛力士立像	2 軀	鎌 倉	金剛院	字鹿原	T14. 8. 25	
N19	重文 彫刻	木造 阿弥陀如来坐像	1 軀	鎌 倉	松尾寺	字松尾	S46. 6. 2	
N20	重文 彫刻	木造 金剛力士立像	2 軀	鎌 倉	多禰寺	字多祢寺	S55. 6. 6	
N21	重文 古文書	後光厳天皇宸翰書状	2 通	南北朝	個 人	—	H8. 6. 27	※
N22	重要無形民俗文化財	松尾寺の仏舞	—	—	松尾寺仏舞保存会	字松尾	H16. 2. 6	
N23	天然記念物	オオミズナギドリ繁殖地	126,456 m <sup>2</sup>	—	野原区・小橋区・ 三浜区・財務省 (管理団体編制)	字野原・小橋・ 三浜小学大嶋 1 の 1 他 [冠島]	T13. 12. 9	

※の文化財は位置を掲示しない（以下同じ）

資料 1-2 府指定文化財一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
P1	建造物	金剛院本堂	1 棟	江 戸	金剛院	字鹿原	H6. 2. 18	
P2	建造物	松尾寺本堂・経蔵・仁王門	3 棟	江 戸	松尾寺	字松尾	H2. 4. 17	
P3	建造物	多禰寺本堂・山門	3 棟	江 戸	多禰寺	字多禰寺	H28. 3. 18	
P4	建造物	田口神社本殿	1 棟	江 戸	田口神社	字朝来中	S62. 4. 15	
P5	建造物	圓隆寺本堂・多宝塔・鐘楼・鎮守堂・総門	4 棟 1 基	江 戸	圓隆寺	字引土	S59. 4. 14	
P6	建造物	荒木家住宅	1 棟	江 戸 明和2年(1765)	個 人	—	H15. 3. 14	
P7	建造物	旧岡田橋	1 基	明治21(1888)	国土交通省	字岡田由里	H10. 3. 13	
P8	建造物	東山寺本堂・鐘楼・山門	3 棟	江 戸 嘉永6年(1853)他	東山寺	字倉谷	H31. 3. 29	
P9	絵 画	絹本着色 阿弥陀三尊像	1 幅	高麗 (13C後半~14C)	松尾寺	字松尾	H元. 4. 14	
P10	絵 画	絹本着色 仏涅槃図	1 幅	室 町	桂林寺	字紺屋	H6. 2. 18	
P11	絵 画	報恩寺本堂障壁画 文麟筆	4 面	江 戸 天保7年(1836)	報恩寺	字与保呂	H25. 3. 19	
P12	彫 刻	木造 十一面観世音菩薩坐像 不動明王立像 毘沙門天立像	1 軀 1 軀 1 軀	鎌 倉	満願寺	字万願寺	H22. 3. 23	
P13	彫 刻	木造地藏菩薩坐像	1 軀	平 安 承安5年(1175)	善福寺	字京田	H27. 2. 26	
P14	工芸品	石燈籠	1 基	南北朝 貞治3年(1364)	八幡神社	字河辺中	H8. 3. 15	
P15	工芸品	鱈口	1 口	南北朝 明德5年(1394)	千手院	字河辺中1	H3. 4. 19	
P16	書跡・典籍	金剛院聖教類	1,646 点	室町~昭和	金剛院	字鹿原	H6. 2. 18	
P17	古文書	制札	1 枚	鎌 倉 元弘3年(1333)	金剛院	字鹿原	S63. 4. 15	
P18	古文書	松尾寺再興啓白文 附西国 三十三所巡礼縁起	1 卷 附 1 卷	鎌倉(附室町)	松尾寺	字松尾	H元. 4. 14	
P19	古文書	梅垣西浦文書 附栗屋軍記	128通(4巻)	鎌倉~江戸	個 人	—	S62. 4. 15	※
P20	考古資料	広口壺及び貝製品 (志高遺跡出土)	1 個・ 3 点		舞鶴市	字北吸	H30. 3. 23	
P21	名 勝	金剛院庭園	—	—	金剛院	字鹿原	H3. 4. 19	
P22	名 勝	上野家庭園	—	江 戸	舞鶴市	字西方寺	H19. 3. 16	

資料 1-3 市指定文化財一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）(1/5)

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
C1	建造物	海臨寺宝篋印塔(元應 2 年銘)	1 基	鎌 倉 元応2年(1320)	個人(管理責任者海臨寺)	—	H9. 6. 2	
C2	建造物	多宝小塔	1 基	南北朝	興禅寺	字多門院	S52. 2. 17	
C3	建造物	宝篋印塔	1 基	南北朝	久田美区	字久田美	S43. 5. 23	
C4	建造物	安岡十三仏笠塔婆	1 基	室 町 応永元年(1394)	個 人	—	H18. 3. 23	
C5	建造物	若宮神社本殿 附棟札等	1 棟 附3枚	江 戸 延宝4年(1676) 附江戸・明治 延宝4年(1676)他	若宮神社	字小倉	H27. 2. 26	

C6	建造物	下東宝篋印塔（伝安寿姫塚）	1基	室町	下東区	字下東	H15.2.28
----	-----	---------------	----	----	-----	-----	----------

資料 1-3 市指定文化財一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）（2/5）

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
C7	建造物	山門	1 棟	江 戸 慶長13年(1608)	雲門寺	字余部上	S40. 5. 31	
C8	建造物	朝代神社本殿	1 棟	江 戸 元文4年(1739)	朝代神社	字朝代	H5. 1. 12	
C9	建造物	大川神社本殿・拝殿・中門	3 棟	江戸～明治	大川神社	字大川	H8. 3. 1	
C10	建造物	明倫小学校正門（伝・旧明倫館正門）	1 棟	江戸後期	舞鶴市	字北田辺	H29. 2. 28	
C11	絵 画	絹本著色 愛染明王像	1 幅	鎌 倉	松尾寺	字松尾	H21. 12. 25	
C12	絵 画	仏涅槃図	1 幅	鎌 倉	西徳寺	字成生	S59. 5. 30	府暫定登録
C13	絵 画	普明国師頂相	1 幅	南北朝	雲門寺	字余部上	S52. 2. 17	
C14	絵 画	曇翁和尚像	1 幅	南北朝	海臨寺	字田井	S59. 5. 30	
C15	絵 画	松尾寺伽藍落慶式古図	1 幅	室 町	松尾寺	字松尾	S40. 5. 31	
C16	絵 画	不動明王二童子像	1 幅	室 町	圓隆寺	字引土	S52. 2. 17	
C17	絵 画	絹本著色 釈迦三尊十六羅漢像	1 幅	南北朝～室町	圓隆寺	字引土	H25. 12. 24	府暫定登録
C18	絵 画	紙本著色 十三王図 附裏書紙	10 幅 附 6 点	江 戸 慶長10年(1605)	龍興院	字泉源寺	H21. 12. 25	
C19	絵 画	板絵著色 檜に白鷹図・唐子遊図	各 2 面	江 戸	妙法寺	字西	H5. 1. 12	
C20	彫 刻	地藏菩薩半跏像	1 軀	平 安	興禅寺	字多門院	S59. 5. 30	
C21	彫 刻	木造 薬師如来立像・左脇侍像 附右脇侍像	3 軀	平 安	長雲寺	字森	H15. 2. 28	
C22	彫 刻	木造 不動明王立像	1 軀	平 安	金剛院	字鹿原	H6. 1. 12	
C23	彫 刻	白屋薬師堂の仏像群	9 軀	平 安	白屋自治会	白屋町	H5. 1. 12	
C24	彫 刻	普賢菩薩騎象像	1 軀	平 安	多禰寺	字多禰寺	S40. 5. 31	
C25	彫 刻	男神坐像・女神坐像 附女神坐像	3 軀	平 安	八幡神社	字平	S59. 5. 30	
C26	彫 刻	如来形立像 菩薩形立像 天部形立像	2 軀 2 軀 5 軀	平 安	千歳区	字千歳	S47. 10. 31	
C27	彫 刻	薬師如来坐像	1 軀	平 安	圓隆寺	字引土	S40. 5. 31	
C28	彫 刻	木造聖観音坐像	1 軀	平 安	仁寿寺	字境谷	H14. 3. 1	
C29	彫 刻	木造観音菩薩立像	1 軀	平 安	天台寺	字天台	H12. 3. 1	
C30	彫 刻	木造男神坐像・女神坐像	2 軀	平安後期	宮谷神社	字福来	H19. 12. 20	
C31	彫 刻	木造 薬師如来坐像	1 軀	平安末期～ 鎌倉初期	宏玄寺	字志高	H15. 2. 28	
C32	彫 刻	男神坐像・女神坐像 附男神坐像	3 軀	鎌 倉	高倉神社	字長浜	S59. 5. 30	
C33	彫 刻	木造 阿弥陀如来立像	1 軀	鎌 倉	至徳寺	字浜	H6. 1. 12	
C34	彫 刻	阿弥陀如来および両脇侍立像	3 軀	鎌 倉	龍勝寺	字行永	S40. 5. 31	
C35	彫 刻	地藏菩薩坐像	1 軀	鎌 倉	松尾寺	字松尾	S43. 5. 23	
C36	彫 刻	木造金剛力士立像	2 軀	鎌 倉	松尾寺	字松尾	H18. 3. 23	
C37	彫 刻	薬師如来坐像	1 軀	鎌 倉	多禰寺	字多禰寺	S47. 10. 31	
C38	彫 刻	阿弥陀如来立像	1 軀	鎌 倉	瑞光寺	字寺内	H5. 1. 12	府暫定登録
C39	彫 刻	神像群	5 軀	鎌倉～室町	倭文神社	字今田	H6. 1. 12	
C40	彫 刻	釈迦如来立像	1 軀	南北朝	大聖寺	字北吸	S59. 5. 30	

資料 1-3 市指定文化財一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）（3/5）

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
C41	彫 刻	木造 毘沙門天立像	1 軀	南北朝	黒部区	字多門院	H25. 3. 22	
C42	彫 刻	木造 大日如来坐像	1 軀	南北朝	観音寺	字観音寺	H13. 3. 30	
C43	工芸品	金剛院梵鐘	1 口	鎌 倉	金剛院	字鹿原	H15. 2. 28	
C44	工芸品	金剛院金銅独鈷杵	1 口	鎌 倉	金剛院	字鹿原	H15. 2. 28	
C45	工芸品	金剛院金銅独鈷杵・金銅三鈷杵	2 口	鎌 倉	金剛院	字鹿原	H15. 2. 28	
C46	工芸品	梵鐘	1 口	鎌 倉	観音寺	字観音寺	S43. 5. 23	
C47	工芸品	孔雀文磬	1 面	鎌 倉	多禰寺	字多祢寺	S43. 5. 23	
C48	工芸品	御正体鏡	1 面	南北朝	八幡神社	字登尾	S40. 5. 31	
C49	工芸品	金剛院金銅密教法具	14 口	室 町	金剛院	字鹿原	H15. 2. 28	
C50	工芸品	石燈籠	1 基	室 町	田口神社	字朝来中	S40. 5. 31	
C51	工芸品	石燈籠	1 基	室 町	観音寺	字観音寺	S43. 5. 23	
C52	工芸品	梵鐘	1 口	室 町	桂林寺	字紺屋	S40. 5. 31	
C53	工芸品	狛犬	1 対	江 戸	高倉神社	字長浜	S40. 5. 31	
C54	工芸品	石造狛犬	1 対	江 戸 元和7年(1621)	熊野神社	字大丹生	H19. 12. 20	
C55	典 籍	多禰寺大般若經	一括	奈良～室町	多禰寺	字多祢寺	H18. 3. 23	
C56	典 籍	河辺八幡神社大般若經	一括	奈良～江戸	八幡神社	字河辺中	H18. 3. 23	
C57	古文書	阿良須神社文書	16通(3巻)	南北朝～江戸	阿良須神社	字小倉	S59. 5. 30	府登録
C58	古文書	丹後国田辺之凶	1 鋪	江 戸	個 人	—	H17. 8. 25	※
C59	古文書	津田家新田開発関係文書	116 点	江戸～近代	個 人	—	H25. 12. 24	※
C60	古文書	平野屋区有文書	一括	江戸～明治	平野屋自治会	字平野屋	H18. 3. 23	
C61	古文書	竹屋区有文書 附文書筆筒	3,866 点 附 3 棹	江戸～現代(平成)	竹屋自治会	字竹屋	H27. 2. 26 H27. 12. 25	
C62	古文書	細川藤孝・忠興連署寺領充行状	1 通	安土桃山 天正9年 (1581)	観音寺	字観音寺	H31. 2. 15	
C63	古文書	多禰寺文書	33 点	安土桃山 ～明治	多禰寺	字多祢寺	H31. 2. 15	
C64	古文書	細川幽斎禁制	1 通	安土桃山 文禄3年 (1595)	金剛院	字鹿原	H31. 2. 15	府登録
C65	古文書	桂林寺文書	15 通	南北朝～江戸	桂林寺	字紺屋	R2. 2. 28	
C66	考古資料	浦入遺跡出土丸木舟	1 艘	縄文前期中頃	舞鶴市	字北吸	H18. 3. 23	
C67	考古資料	志高遺跡出土縄文時代前期土器	51 点	縄文前期	舞鶴市	字北吸	H21. 1. 21	
C68	考古資料	桑飼下遺跡出土品	一括	縄文～奈良	舞鶴市	字南田辺	S52. 2. 17	
C69	考古資料	切山古墳石棺	1 基	古 墳	舞鶴市	字女布	H5. 1. 12	
C70	考古資料	引土埋蔵銭	11,943 枚	南 北 朝	舞鶴市	字南田辺	H14. 3. 1	
C71	考古資料	小橋遺跡出土有舌尖頭器	1 点	縄文草創期	舞鶴市	字南田辺	H29. 12. 26	
C72	考古資料	女布遺跡出土有舌尖頭器	1 点	縄文草創期	舞鶴市	字南田辺	H29. 12. 26	
C73	歴史資料	河辺八幡神社棟札群	一括	鎌倉～江戸	八幡神社	字河辺中	H18. 3. 23	
C74	歴史資料	黒漆塗縦矧五枚胴具足 附黒塗角鑑櫃・角团扇形軍配・牧野家紋 染白絹背旗・金銀に日の丸軍扇・黒漆塗 鎖肩当・麻紺染ワラジ	1 領	江 戸	舞鶴市	字南田辺	H18. 3. 23	

資料 1-3 市指定文化財一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）（4/5）

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
C75	歴史資料	牧野家文書	一括	江戸	舞鶴市	字南田辺	S43. 5. 23	
C76	歴史資料	田辺籠城図	1 鋪	江戸	個人	—	H23. 12. 20	※
C77	歴史資料	田辺籠城図	1 鋪	江戸	大泉寺	字倉谷	H23. 12. 20	
C78	歴史資料	糸井文庫	一括	江戸～昭和	舞鶴市	字南田辺	S40. 5. 31	
C79	歴史資料	明倫小学校関係資料	一括	江戸～昭和	舞鶴市	字北田辺	H18. 3. 23	
C80	歴史資料	井上文庫	一括	江戸～昭和	舞鶴市	字溝尻	H21. 1. 21	
C81	歴史資料	舞鶴引揚記念館収蔵資料群 I	2,869 点	現代	舞鶴市	字平	H25. 12. 24	世界記憶遺産
C82	歴史資料	舞鶴幼稚園資料	889 点	明治～昭和	舞鶴市	字円満寺	H29. 2. 28	
C83	歴史資料	國松家大砲関係資料並びに 鋳物師関係資料	348 点	江戸～明治	個人	—	H29. 12. 26	※
C84	有形民俗文化財	朝代神社祭礼絵巻	3 巻	江戸	個人	—	H17. 8. 25	府暫定登録※
C85	有形民俗文化財	湊十二社奉納和船（船底に 墨書銘がある）	1 艘	江戸 嘉永5年(1852)	湊十二神社 (管理責任者東・西神崎区)	字西神崎	H11. 3. 1	
C86	有形民俗文化財	湊十二社奉納和船	1 艘	江戸末期	湊十二神社 (管理責任者東・西神崎区)	字西神崎	H11. 3. 1	
C87	有形民俗文化財	朝代神社祭礼芸屋台及び 見送幕	1 基 2 幅	江戸～明治	新自治会	字新	H25. 3. 22	
C88	有形民俗文化財	朝代神社祭礼芸屋台及び 見送幕	1 基 2 幅	江戸～明治	丹波自治会	字丹波	H25. 3. 22	
C89	有形民俗文化財	朝代神社祭礼芸屋台及び 見送幕	1 基 1 幅	江戸～明治	西自治会	字西	H25. 3. 22	
C90	有形民俗文化財	朝代神社祭礼芸屋台及び 見送幕	1 基 1 幅	江戸～明治	魚屋自治会	字魚屋	H25. 3. 22	
C91	有形民俗文化財	朝代神社祭礼芸屋台及び 見送幕	1 基 3 幅	江戸～明治	竹屋自治会	字竹屋	H27. 2. 26	
C92	有形民俗文化財	朝代神社祭礼芸屋台及び 見送幕	1 基 1 幅	江戸～明治	寺内自治会	字寺内	H27. 2. 26	
C93	有形民俗文化財	朝代神社祭礼芸屋台及び 見送幕 附幔幕	1 基・1 幅 附 1 幅	江戸～明治 附明治35年(1902)	堀上自治会	字堀上	H27. 12. 25	
C94	有形民俗文化財	朝代神社祭礼平野屋神楽 関係用具	一括	江戸～ 現代(平成)	平野屋自治会	字平野屋	H29. 2. 28	
C95	有形民俗文化財	田井八幡神社奉納和船 (トモに八幡丸の銘がある)	1 艘	江戸末期～ 明治初期	八幡神社	字田井	H11. 3. 1	
C96	有形民俗文化財	喜多御山神社絵馬群	12 面	江戸～昭和	喜多区	字喜多家奥	H17. 8. 25	
C97	有形民俗文化財	老人嶋神社奉納和船（トモ に明神丸の銘がある）	1 艘	明治5年(1872)	老人嶋神社	字成生	H11. 3. 1	
C98	有形民俗文化財	朝代神社奉納和船	1 艘	明治	朝代神社	字朝代	H11. 3. 1	
C99	有形民俗文化財	湊十二社のオフネ	1 艘	不明	東神崎区・西神崎区	字西神崎	H11. 3. 1	
C100	無形民俗文化財	河辺八幡神社の祭礼芸能	—	—	八幡神社宮講	字河辺中	S59. 5. 30	府登録
C101	無形民俗文化財	吉原の太刀振	—	—	吉原太刀振保存会	字東吉原	S43. 5. 23	府登録
C102	無形民俗文化財	揚松明	—	—	城語明燈保存会	字城屋	S40. 5. 31	府登録
C103	無形民俗文化財	地頭太鼓	—	—	地頭太鼓保存会	字地頭	S40. 5. 31	
C104	無形民俗文化財	大俣太鼓	—	—	大俣太鼓保存会	字大俣	S40. 5. 31	
C105	史 跡	田辺（舞鶴）城趾	19,800 m <sup>2</sup>	安土桃山	舞鶴市	字南田辺	S40. 5. 31	
C106	名 勝	松尾寺庭園	500 m <sup>2</sup>	鎌 倉	松尾寺	字松尾	H18. 3. 23	
C107	天然記念物	ムクロジ	1 本	—	若宮神社	字小倉	H27. 2. 26	

資料 1-3 市指定文化財一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）(5/5)

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
C108	天然記念物	カヤ（榎）	1 本	—	金剛院	字鹿原	S52. 2. 17	
C109	天然記念物	イチョウ（銀杏）	1 本	—	松尾寺	字松尾	S52. 2. 17	
C110	天然記念物	青葉山のオオキンレイカ	—	—	松尾寺・高浜町今寺区	字松尾	H11. 3. 1	
C111	天然記念物	ビカリア等化石群包蔵地	約 760 m <sup>2</sup>	1500 万年 ±100 万年前	グリーンムバーズ(株)	字栃尾	H15. 2. 28	
C112	天然記念物	多祢山のイヌシデ巨木林	多祢山内 約 2000 m <sup>2</sup>	—	多祢寺他個人	字多祢寺	H23. 2. 25	
C113	天然記念物	松原神社のウラシマソウ群落	境内地	—	松原神社	字三浜	H23. 2. 25	
C114	天然記念物	三浜海蔵寺のシイ林	1,651 m <sup>2</sup>	—	海蔵寺	字三浜	S59. 7. 1	
C115	天然記念物	ウミネコ・ヒメクロウミツバメの繁殖地 沓島	9,702 m <sup>2</sup>	—	野原区・小橋区・三浜区	字野原・小橋・三浜	S40. 5. 31	
C116	天然記念物	成生岬のスダジイ巨木	1 本	—	成生区	字成生	H13. 3. 30	
C117	天然記念物	リンボク（樺木）	1 本	—	城屋区	字城屋	S52. 2. 17	
C118	天然記念物	しだれ桜（古木と若木）	2 本	—	吉田区	字吉田	S52. 2. 17	

資料 1-4 国登録文化財一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
NT1	建造物	旧上野家住宅 主屋	1 棟	天保末年 (1830 年代)	舞鶴市	字西方寺	H18. 8. 3	
NT2	建造物	旧上野家住宅 長屋	1 棟	明治 10 年代 (1870 年代)	舞鶴市	字西方寺	H18. 8. 3	
NT3	建造物	旧上野家住宅 馬屋	1 棟	江戸後期	舞鶴市	字西方寺	H18. 8. 3	
NT4	建造物	旧上野家住宅 東蔵	1 棟	江戸後期	舞鶴市	字西方寺	H18. 8. 3	
NT5	建造物	旧上野家住宅 中蔵	1 棟	江戸後期	舞鶴市	字西方寺	H18. 8. 3	
NT6	建造物	旧上野家住宅 西蔵	1 棟	明治 20 年代 (1880 年代)	舞鶴市	字西方寺	H18. 8. 3	
NT7	建造物	旧上野家住宅 塀	1 棟	江戸後期 大正増築	舞鶴市	字西方寺	H18. 8. 3	
NT8	建造物	旧上野家住宅 神社	1 棟	江戸後期	舞鶴市	字西方寺	H18. 8. 3	
NT9	建造物	神崎コンクリート(株)旧煉瓦窯 (旧京都竹村丹後製窯所煉瓦窯)	1 棟	大正末期	個人	字西神崎	H11. 11. 18	
NT10	建造物	渡邊家住宅 主屋	1 棟	明治 3 年(1870)	個人	字竹屋	H10. 9. 2	
NT11	建造物	渡邊家住宅 什器蔵	1 棟	明治 3 年(1870)	個人	字竹屋	H10. 9. 2	
NT12	建造物	渡邊家住宅 新蔵	1 棟	明 治	個人	字竹屋	H10. 9. 2	
NT13	建造物	北吸隧道	1 基	明治 37 年(1904)	舞鶴市	字北吸・浜	H14. 8. 21	
NT14	建造物	若の湯	1 棟	大 正 大正 11 年 (1922)	個人	字本	H30. 5. 10	
NT15	建造物	旧舞鶴鎮守府乙号官舎	1 棟	明 治 明治 35 年 (1902)	舞鶴市	字浜	H30. 5. 10	
NT16	建造物	JR 小浜線松尾寺駅旧本屋	1 棟	大 正 大正 11 年 (1922)	舞鶴市	字吉坂	H30. 5. 10	
NT17	建造物	茶又旅館 主屋及び離れ	1 棟	昭和 25 年	個人	字本	R 2. 8. 17	
NT18	建造物	茶又旅館 土蔵	1 棟	明治前期	個人	字本	R 2. 8. 17	
NT19	建造物	茶又旅館 門及び塀	1 棟	昭和 25 年	個人	字本	R 2. 8. 17	
NT20	建造物	日の出湯	1 棟	明治末期～ 大正	個人	字東吉原	R 3. 2. 4	



資料 1-5 府登録文化財一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
PT1	建造物	弥加宜神社本殿	1 棟	江 戸	弥加宜神社	字森	H3. 4. 19	
PT2	建造物	田口神社拝殿	1 棟	江 戸	田口神社	字朝来中	S62. 4. 15	
PT3	建造物	桂林寺本堂・山門・経蔵	3 棟	江 戸	桂林寺	字紺屋	H24. 3. 23	
PT4	古文書	阿良須神社文書	16通(3巻)	南北朝～江戸	阿良須神社	字小倉	S58. 4. 15	市指定
PT5	古文書	金剛院文書	839点	南北朝～昭和	金剛院	字鹿原	H5. 4. 9	市指定
PT6	有形民俗文化財	瀬崎人形浄瑠璃用具	185点	江戸～明治	瀬崎区	字瀬崎	H2. 4. 17	
PT7	無形民俗文化財	田中の三番叟・姫三社・徳若万歳	—	—	鈴鹿神社祭礼保存会	田中町	H9. 3. 14	
PT8	無形民俗文化財	小倉のおまつ行事	—	—	小倉区	字小倉	H9. 3. 14	
PT9	無形民俗文化財	河辺八幡神社の祭礼芸能	—	—	八幡神社宮講	字河辺中	S59. 4. 14	市指定
PT10	無形民俗文化財	河辺八幡神社祭の振物・神楽・三番叟	—	—	両中區、南區、東區、河 辺東區、南東區、南區	字河辺中	H3. 4. 19	
PT12	無形民俗文化財	小橋の精霊船行事	—	—	精霊船行事保存会	字小橋	S62. 4. 15	
PT13	無形民俗文化財	吉原の万灯籠	—	—	吉原万灯籠保存会	字西吉原	H元. 4. 14	
PT14	無形民俗文化財	東吉原の振物	—	—	東吉原太刀振保存会	字東吉原	H元. 4. 14	市指定
PT15	無形民俗文化財	城屋の揚松明	—	—	揚松明保存会	字城屋	S62. 4. 15	市指定
PT16	無形民俗文化財	蒲江の振物・踊り太鼓	—	—	蒲江区	字蒲江	H5. 4. 9	
PT17	無形民俗文化財	神崎の扇踊	—	—	歳十二社祭礼行事保存会	字東神崎・西神崎	S62. 4. 15	

資料 1-6 府暫定登録文化財一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）(1/2)

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
PZ1	建造物	雨引神社本殿	1 棟	—	雨引神社	字城屋	H31. 2. 1	
PZ2	建造物	阿良須神社本殿	1 棟	—	阿良須神社	字小倉	H31. 2. 1	
PZ3	建造物	伊智布西神社本殿	1 棟	—	伊智布西神社	字桑飼下	H31. 2. 1	
PZ4	建造物	猪蔵神社本殿	1 棟	—	猪蔵神社	字西方寺	H31. 2. 1	
PZ5	建造物	倭文神社本殿	1 棟	—	倭文神社	字今田	H31. 2. 1	
PZ6	建造物	松林寺本堂	1 棟	—	松林寺	字西	H31. 2. 1	
PZ7	建造物	松林寺観音堂	1 棟	—	松林寺	字西	H31. 2. 1	
PZ8	建造物	瑞光寺本堂	1 棟	—	瑞光寺	字寺内	H31. 2. 1	
PZ9	建造物	瑞光寺鐘楼	1 棟	—	瑞光寺	字寺内	H31. 2. 1	
PZ10	建造物	瑞光寺山門	1 棟	—	瑞光寺	字寺内	H31. 2. 1	
PZ11	建造物	西飼神社本殿	1 棟	—	西飼神社	字地頭	H31. 2. 1	
PZ12	建造物	八幡神社本殿	1 棟	—	八幡神社	字登尾	H31. 2. 1	
PZ13	建造物	般若寺本堂	1 棟	—	般若寺	字富室	H31. 2. 1	
PZ14	建造物	般若寺鎮守社	1 棟	—	般若寺	字富室	H31. 2. 1	
PZ15	建造物	般若寺楼門	1 棟	—	般若寺	字富室	H31. 2. 1	
PZ16	建造物	東山寺庫裏	1 棟	—	東山寺	字倉谷	H31. 2. 1	
PZ17	建造物	富留山神社本殿	1 棟	—	富留山神社	字小倉	H31. 2. 1	

資料 1-6 府暫定登録文化財一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）(2/2)

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
PZ18	建造物	本行寺本堂	1 棟	—	本行寺	字引土新	H31. 2. 1	
PZ19	建造物	本行寺惣門	1 棟	—	本行寺	字引土新	H31. 2. 1	
PZ20	絵 画	絹本著色釈迦三尊十六善神像	1 幅	—	圓隆寺	字引土	H29. 11. 15	
PZ21	絵 画	絹本著色釈迦三尊十六羅漢像	1 幅	—	圓隆寺	字引土	H29. 11. 15	市指定
PZ22	絵 画	絹本著色薬師三尊十二神将像	1 幅	—	圓隆寺	字引土	H29. 11. 15	
PZ23	絵 画	絹本著色尊勝曼荼羅図	1 幅	—	圓隆寺	字引土	H29. 11. 15	
PZ24	絵 画	絹本著色仏涅槃図	1 幅	—	西徳寺	字成生	H29. 11. 15	市指定
PZ25	彫 刻	木造阿弥陀如来立像	1 軀	—	瑞光寺	字寺内	H29. 9. 29	市指定
PZ26	彫 刻	木造薬師如来坐像	1 軀	—	圓隆寺	字引土	H29. 9. 29	市指定
PZ27	書跡・典籍	春屋宗園墨跡	1 幅	—	雲門寺	字余部上	H31. 2. 1	
PZ28	古文書	春屋妙葩寄進状及び同状施入状	1幅・1巻	—	雲門寺	字余部上	H31. 2. 1	
PZ29	古文書	徳永重兵衛家文書	808 点	—	個人	—	H31. 2. 1	※
PZ30	考古資料	石斧 アンジャ島遺跡出土	2 点	—	舞鶴市	字北吸	H30. 3. 23	
PZ31	考古資料	製塩土器支脚「笠百私印」刻印 浦入遺跡出土	1 点	—	舞鶴市	字北吸	H30. 3. 23	
PZ32	考古資料	須恵器特殊扁壺 大川遺跡出土	1 点	—	舞鶴市	字北吸	H30. 3. 23	
PZ33	有形民俗文化財	朝代神社祭礼絵巻	3 巻	—	個人	—	H29. 9. 29	市指定
PZ34	有形民俗文化財	松尾寺奉納船絵馬	1 点	—	松尾寺	字松尾	H29. 11. 15	
PZ35	有形民俗文化財	湊十二社奉納和船	1 点	—	湊十二神社	字西神崎	H30. 3. 23	市指定※
PZ36	史跡	田辺藩主牧野英成墓所	—	—	東山寺	字倉谷	R2. 3. 27	
PZ37	名 勝	心種園	—	—	舞鶴市	字南田辺	H31. 2. 1	
PZ38	名 勝	東山寺庭園	—	—	東山寺	字倉谷	R2. 3. 27	

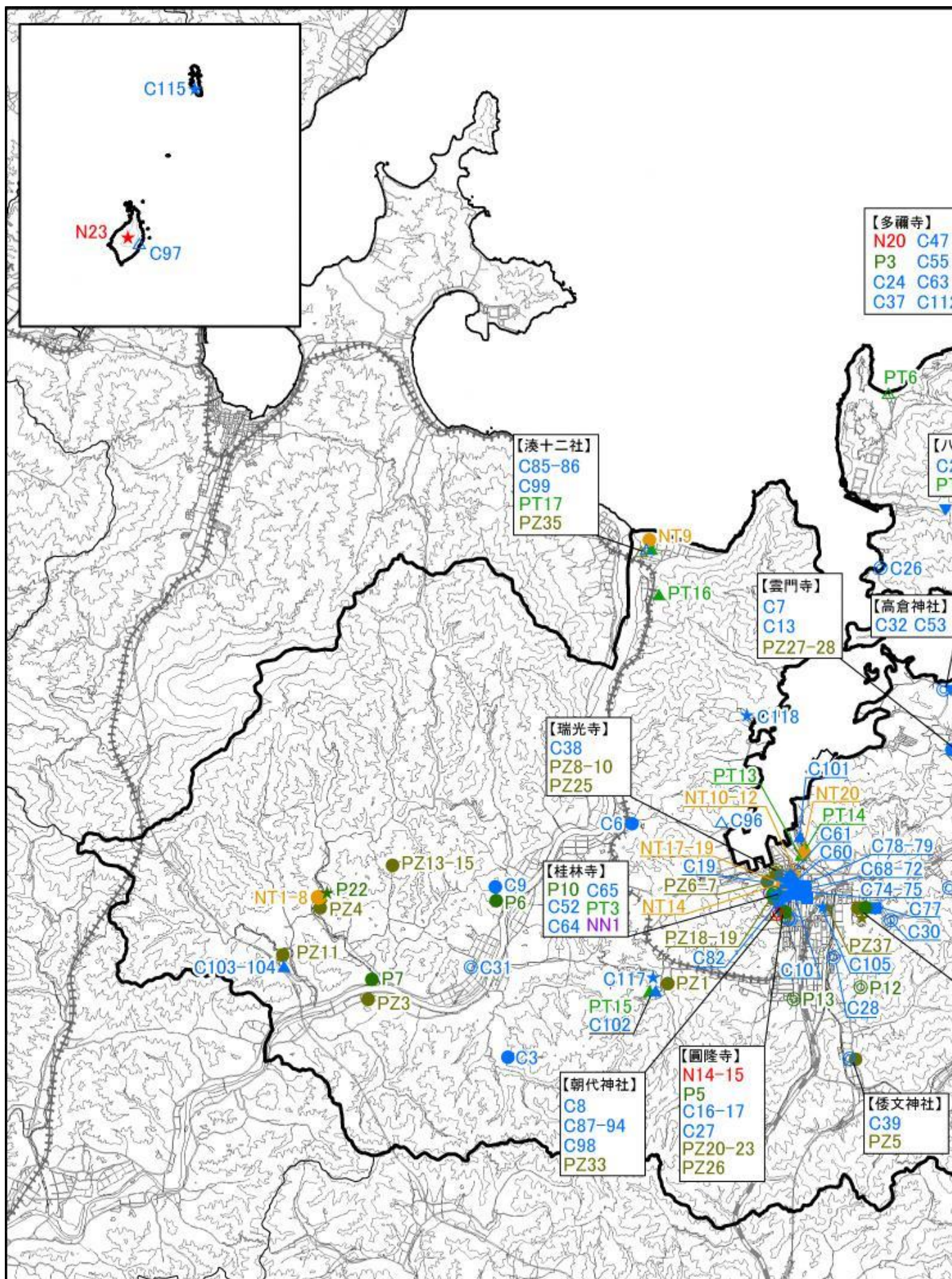
資料 1-7 府決定文化財環境保全地区一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
PK1	環境保全地区	金剛院文化財環境保全地区	—	—	金剛院	字鹿原	H6. 2. 18	
PK2	環境保全地区	弥加宜神社文化財環境保全地区	—	—	弥加宜神社	字森	H3. 4. 19	
PK3	環境保全地区	田口神社文化財環境保全地区	—	—	田口神社	字朝来中	S62. 4. 15	

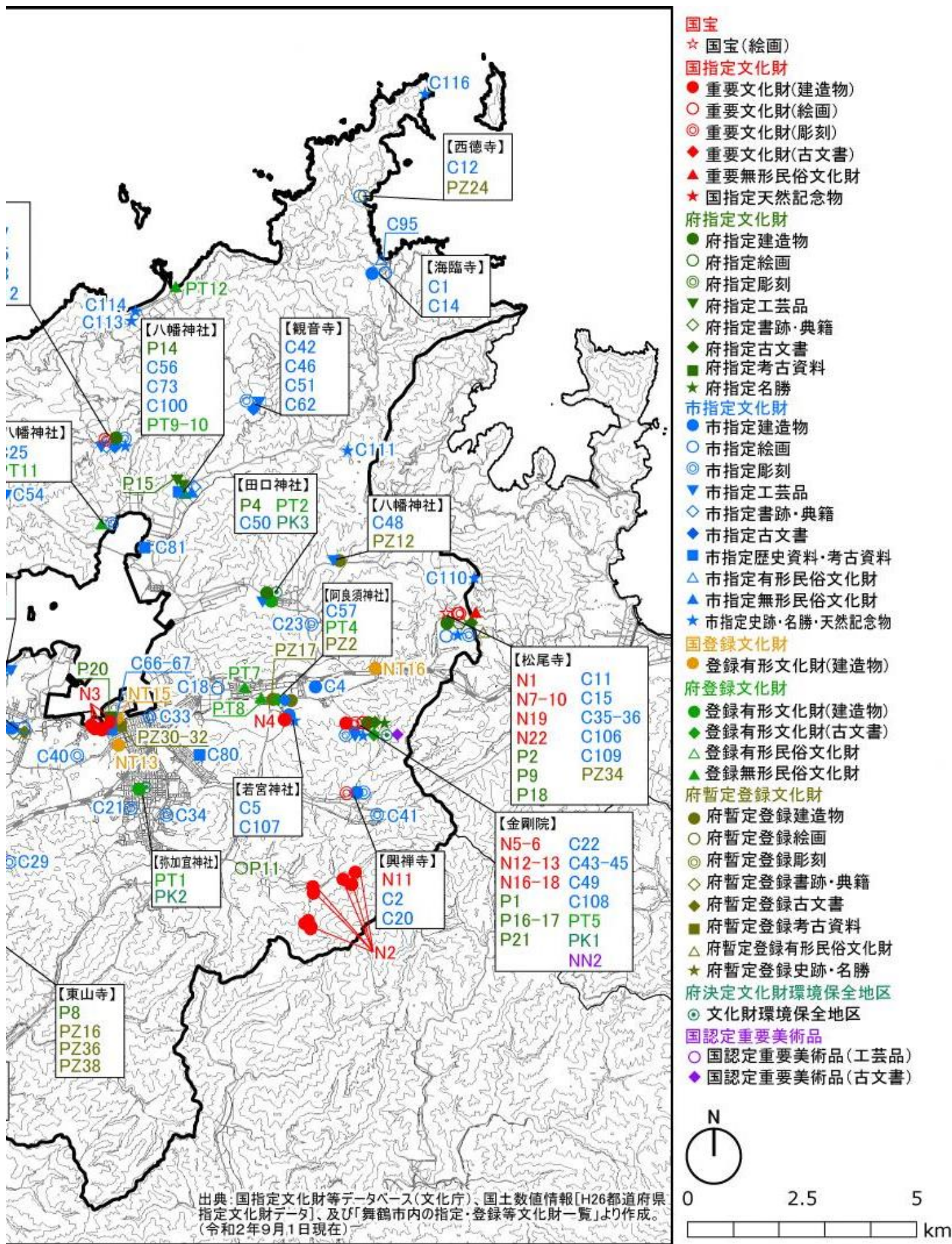
資料 1-8 国認定重要美術品一覧（令和 3 年 3 月 1 日現在）

No.	区 分	名 称	員数	年代	所有者・管理者	所 在 地	指定日	備考
NN1	工芸品	石燈籠	1 基	鎌 倉	桂林寺	字紺屋	S12. 8. 28	
NN2	古文書	制札	1 枚	鎌 倉 元弘3年(1333)	金剛院	字鹿原	S18. 10. 1	府指定









資料 1-9 舞鶴市指定等文化財分布図

## 資料2 未指定の歴史文化遺産一覧

No.	区分	名称	所有者	所在地	備考
1	建造物	西飼神社本殿	西飼神社	地頭	伝明和4年(1767) 府暫定登録
2	建造物	伊智布西神社本殿	伊智布西神社	桑飼下	明和3(1766) 府暫定登録
3	建造物	見海寺山門	見海寺	西	伝田辺城遺構
4	建造物	瑞光寺山門	瑞光寺	寺内	伝田辺城遺構 府暫定登録
5	建造物	海臨寺山門	海臨寺	田井	
6	建造物	観音寺山門	観音寺	観音寺	
7	建造物	般若寺山門	般若寺	富室	府暫定登録
8	建造物	浄土寺山門	浄土寺	新	
9	建造物	宝篋印塔群	龍勝寺	行永	上羽丹波守
10	建造物	宝篋印塔	個人	千歳	応永4年(1397)
11	建造物	宝篋印塔	金剛院	鹿原	天正20年(1592) 高岳親王墓
12	建造物	宝篋印塔	興禅寺	多門院	明德元年(1390)
13	建造物	飯野寅吉旧家	個人	余部上	大正期
14	建造物	布川家住宅	個人	余部下	江戸後期/明治
15	建造物	水島家住宅	個人	伊佐津	明治31年(1898) 水島彦一郎宅
16	建造物	村田家住宅	個人	市場	江戸後期/明治
17	建造物	旧鎮守府司令官官舎(工場長・機関学校長)	防衛省	余部下	
18	建造物	北吸石積護岸	防衛省ほか	北吸	
19	建造物	旧海軍れんが倉庫(被服庫)	海上自衛隊	北吸	
20	建造物	海上自衛隊舞鶴地方総監部会議所	海上自衛隊	余部下	
21	建造物	舞鶴鎮守府官舎	個人	浜	
22	絵画	阿弥陀三尊来迎図	圓隆寺	引土	南北朝
23	絵画	釈迦十六善神像	圓隆寺	引土	南北朝 府暫定登録
24	絵画	三朝高僧真影図・上宮太子影図	瑞光寺	寺内	慶長6年
25	絵画	明誓像	瑞光寺	寺内	
26	絵画	襖絵(塩川文麟)	東山寺	倉谷	8面
27	絵画	襖絵(鈴木南嶺)	桂林寺	紺屋	6面
28	絵画	雲竜怒浪図(鈴木百年・百僊)	松尾寺	松尾	
29	絵画	羅漢図・四季図(鈴木百年・百僊・松僊)	長雲寺	森	
30	彫刻	大日如来坐像	海蔵寺	三浜	高さ155cm 江戸
31	彫刻	阿弥陀如来坐像	河辺中区	河辺中	高さ85cm 平安
32	彫刻	地藏菩薩立像	河辺中区	河辺中	キリシタン伝承 江戸
33	彫刻	大日如来坐像	河辺中区	河辺中	高さ103cm 南北朝
34	彫刻	真如法親王坐像	金剛院	鹿原	高さ69cm



35	彫刻	奪衣婆 十王像	泉源寺区	泉源寺	高さ46cm 高さ40cm
<b>No.</b>	<b>区 分</b>	<b>名 称</b>	<b>所有者</b>	<b>所在地</b>	<b>備 考</b>
36	彫刻	兜跋毘沙門天立像		泉源寺	高さ 94
37	彫刻	毘沙門天立像	森区	森	府北部最古の仏像
38	彫刻	聖観音菩薩立像	雲門寺	余部	高さ74cm 平安
39	彫刻	曇翁禪師坐像	海臨寺	田井	高さ55cm 江戸
40	彫刻	毘沙門天立像	見樹寺	西	牧野親成護持仏 青銅製
41	彫刻	文殊菩薩像	桂林寺	紺屋	
42	彫刻	薬師如来坐像	菩提寺	女布	高さ113cm 平安
43	彫刻	十一面観音坐像	丸田区	丸田	高さ160cm
44	彫刻	薬師如来坐像	八戸地区	八戸地	高さ85cm
45	彫刻	如来像	八戸地区	八戸地	小田内薬師
46	彫刻	千歳阿弥陀堂指定外諸仏	千歳区	千歳	十一面観音立像
47	彫刻	圓隆寺護摩堂諸仏	圓隆寺	引土	
48	彫刻	大日如来坐像	高福寺	別所	
49	彫刻	阿弥陀如来坐像	善福寺	京田	平安（11世紀）
50	彫刻	毘沙門天立像	善福寺	京田	
51	彫刻	地藏菩薩立像	福聚寺	与保呂	
52	彫刻	神像	鳴生神社	成生	
53	彫刻	神像	松原神社	三浜	
54	彫刻	神像	若宮神社	小橋	
55	工芸品	鑄銅蓮華形柄香炉	圓隆寺	引土	伝皇慶
56	工芸品	梵鐘	見樹寺	西	田辺藩主京極家ゆかり
57	工芸品	大内椀	松尾寺	松尾	桃山 細川藤孝伝来品
58	工芸品	鑄銅水瓶	松尾寺	松尾	鎌倉
59	工芸品	梵鐘	浄土寺	新	
60	工芸品	狛犬	天蔵神社	多門院	
61	工芸品	四面器 1組	圓隆寺	引土	
62	書跡典籍	由里滴水「浩然」 儀山善来「恭敬」	龍勝寺	行永	
63	書跡典籍	野田笛浦	見海寺	西	
64	書跡典籍	北丹禅窟扁額	海臨寺	田井	朝鮮通信使
65	書跡典籍	大明寺大般若経	大明寺	東神崎	室町 春日版（1巻）
66	書跡典籍	圓隆寺大般若経	圓隆寺	引土	江戸中期 木版600巻 箱付
67	書跡典籍	観音寺大般若経	観音寺	観音寺	鎌倉～江戸
68	古文書	田辺城西側石垣修覆伺図控	舞鶴市	北田辺	元禄5年（1692）
69	古文書	徳永家文書	個人	三浜	天文年間～ 府暫定登録
70	古文書	細川忠興感状	個人	行永	慶長5年（1600）
71	古文書	桂林寺文書	桂林寺	紺屋	中世～近世初期史料15点は指定済み（R元）

72	考古資料	匂ヶ崎銅鐸	東京国立博物館	下安久	現品東京国立博物館蔵
73	考古資料	アジヤ島蛤刃石斧	舞鶴市	小橋	縄文後期遺物 府暫定登録
<b>No.</b>	<b>区分</b>	<b>名称</b>	<b>所有者</b>	<b>所在地</b>	<b>備考</b>
74	考古資料	浦入遺跡出土製塩関係遺物	舞鶴市	浦入	「笠百私印」刻印製塩土器（府暫定登録）・銅銭他
75	考古資料	千歳下遺跡出土祭祀遺物	舞鶴市	千歳	
76	考古資料	天台南谷遺跡経塚関係遺物	舞鶴市	天台	
77	歴史資料	岸家医学書	個人	市場	解体新書等
78	有形民俗	和船（トモブト）		白杉他	
79	有形の民俗	田井大墓		田井	
80	有形の民俗	両墓		野原	特にミハカ
81	有形の民俗	宇留間家		与保呂	
82	有形の民俗	奉納幕	高倉神社	長浜	寛政11年
83	有形の民俗	西地区旧城下町の地藏盆	旧城下町各自治会	西地区	全市アンケート調査および府「祭り・行事調査」実施済み
84	無形の民俗	雄島まいり	三浜・小橋・野原区	三浜・小橋・野原	府祭り・行事調査実施
85	無形の民俗	平の村祈禱	平区	平	府祭り・行事調査実施
86	無形の民俗	えとんびき行事			
87	無形の民俗	山の神行事			府祭り・行事調査実施（城屋の山の神）
88	無形の民俗	きつね狩り			
89	無形の民俗	金峰神社松明行事	女布区	女布	
90	史跡	白杉古墳		白杉	横穴式石室 未発掘
91	史跡	貼石墓	国土交通省	志高	地下で保存
92	史跡	ニイザ古墳	個人	和江	横穴式石室
93	史跡	大波古墳群		大波上	群集墳
94	史跡	奥原古墳群		大波上	群集墳
95	史跡	干田古墳群		河辺中	群集墳
96	史跡	田辺城二ノ丸石垣	円満寺区	南田辺	R3指定候補
97	史跡	愛宕山・田辺山城跡	圓隆寺・桂林寺	引土・紺屋・西他	
98	史跡	溝尻城跡（矢野山城跡）	市場・小倉・溝尻・堂奥区	市場・小倉・溝尻・堂奥	
99	史跡	蛇島城跡	財務省	上・下佐波賀	
100	史跡	中山城跡	水間・中山区	水間・中山	由良川下流域を代表する山城
101	史跡	牧野英成墓	東山寺	倉谷	府暫定登録
102	史跡	野田笛浦墓	見樹寺	西	旧無常院跡
103	史跡	旧舞鶴鎮守府長官官舎（海上自衛隊舞鶴地方総監部会議所）	防衛省	余部下	通称東郷邸 心字池・門とも
104	史跡	旧舞鶴要塞 槇山砲台跡	舞鶴市	白杉	槇山公園
105	史跡	旧舞鶴要塞 金ヶ崎砲台跡	財務省	白杉	
106	史跡	旧舞鶴要塞 建部山堡塁砲台跡	喜多・下東区・財務省	喜多	
107	史跡	旧舞鶴要塞 葦谷砲台跡	個人ほか	瀬崎・千歳	
108	史跡	旧舞鶴要塞 浦入砲台跡	関西電力株式会社	千歳	一部消滅



109	史跡	旧舞鶴要塞 下安久弾丸本庫跡	財務省	下安久	一部消滅
110	史跡	旧舞鶴要塞 吉坂堡壘砲台跡	個人ほか	吉坂・高浜町	福井県高浜町
No.	区分	名称	所有者	所在地	備考
111	史跡	京街道一里塚	個人	京田	※西舞鶴道路敷設に係り移転
112	史跡	若狭街道一里塚	天台区	天台	
113	史跡	加佐郡奉行役所跡	個人	寺内	
114	名勝	真名井の清水	七日市・公文名区	七日市・公文名	湧水
115	名勝地	多禰寺庭園	多禰寺	多禰寺	江戸初期
116	名勝地	松林寺庭園	松林寺	西	江戸末
117	名勝地	東山寺庭園	東山寺	倉谷	江戸 府暫定登録
118	名勝地	心種園	舞鶴市	北田辺	市史跡と重複 府暫定登録
119	動物・植物・地質鉱物	漣痕化石	上野碎石(株)	岡田由里	※風化が激しい
120	動物・植物・地質鉱物	石炭層の露出		八戸地	
121	動物・植物・地質鉱物	荒倉層		多門院	
122	動物・植物・地質鉱物	ブナ林		与保呂	中腹 珍種
123	動物・植物・地質鉱物	水間のケヤキ	水間区	水間	市ケヤキ番付 (S59)大関 幹周6.01m
124	動物・植物・地質鉱物	松尾寺の大杉	松尾寺	松尾	伝細川忠興お手植え 幹周6.18m
125	動物・植物・地質鉱物	金剛院の奉行杉	金剛院	鹿原	伝平忠盛お手植え 幹周4.98m
126	動物・植物・地質鉱物	逆さ杉		鹿原	八尾比丘尼伝説
127	動物・植物・地質鉱物	結城神社のタブノキ	結城神社	青井	幹周7.03m
128	動物・植物・地質鉱物	オノ神のタブノキ		行永	幹周6.77m
129	動物・植物・地質鉱物	小森のタブノキ	個人	上佐波賀	幹周6.40m
130	動物・植物・地質鉱物	下福井のナシ	個人	下福井	幹周3.02m
131	動物・植物・地質鉱物	白髭神社のツガ	白髭神社	上漆原	
132	動物・植物・地質鉱物	桑飼上のモチノキ	個人	桑飼上	幹回3.25m
133	文化的景観	成生の漁業集落の景観	成生区	成生	
134	文化的景観・ 伝統的建造物群	吉原の漁業集落の景観	東・西吉原	東・西吉原	

## 資料3 日本遺産構成文化財・世界記憶遺産登録資料一覧

資料3-1 日本遺産構成文化財 一覧 (1/2) (鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～)

NO.	文化財の名称	指定等	ストーリーの中の位置づけ
4-1	舞鶴赤れんがパーク等(舞鶴旧鎮守府倉庫施設魚形水雷庫、予備艦兵器庫、弾丸庫並小銃庫、雑器庫並預兵器庫、第三水雷庫、揮発油庫)	国重文	明治35年(1902)から大正7年(1917)にかけて、海岸近くに建てられた2階建てれんが造倉庫群である。特に赤れんが博物館に活用している旧魚形水雷庫は、当時の最先端技術を取り入れた国内最古級の鉄骨れんが造建築物(鉄骨は米国カーネギー社製)である。また、第三水雷庫は大正7年建築の舞鶴鎮守府最大の倉庫であり、蒸気機関車が直接貨物車両を引いて入ることができた。
4-2	旧舞鶴鎮守府軍需部倉庫(舞鶴旧鎮守府倉庫施設需品庫)	国重文	明治35年に需品庫として建てられた3連棟の2階建てれんが造倉庫である。倉庫の前には長さ約150mの石とれんがを敷いた物品運搬通路がある。大正期に電機庫や水雷庫に用途変更され、三棟を貫いて鉄道の引込線が敷設された。
4-3	海上自衛隊舞鶴補給所No.2、No.3、No.4、No.17倉庫(舞鶴旧鎮守府衣糧庫・被服庫等)	未指定	舞鶴鎮守府の開庁に合わせ、明治34年(1901年)に建築された2棟の被服庫は、舞鶴鎮守府最古のれんが倉庫であり、隣の第三被服庫は大正10年(1921)に建築された最新のれんが倉庫である。
4-4	海上自衛隊舞鶴地方総監部会議所(旧舞鶴鎮守府司令長官官舎)	未指定	舞鶴鎮守府歴代司令長官の官舎として明治34年に建築された。一部洋館造りの木造平屋建て和洋折衷様式である。初代司令長官の東郷平八郎海軍中將も2年間過ごした。現在、月1回公開されている。
4-5	ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所施設(旧舞鶴鎮守府海軍工廠) 5-a 舞鶴館(本館) 5-b 第二倉庫(造兵機械場) 5-c 機械工場(鍛造工場) 5-d 複写室(第五材料倉庫) 5-e、f 第三陸機工場(第一、第二製缶場) 5-g 第4修理工場(現図場) 5-h 第二機械工場(外業工場) 5-i 第1機械工場(機械工場及び組立工場) 5-j 第2電気工場(発電場) 5-k 2号ドック(第一船渠) 5-l 3号ドック(第二船渠)	未指定	明治30年(1897)から造船廠用地の開削工事が始まり、同36年には主要なれんが造の工場建物などが完成して海軍工廠となった。さらに中核をなす船台、船渠も建設され、第一船渠が明治37年に、第二船渠が大正3年(1914)に完成した。第二船渠は最新技術のコンクリート造とし、一部石材が用いられ、当時の四海軍工廠のうちで最大級だった。舞鶴工廠は、主に駆逐艦や水雷艇などの小型艦艇建造と水中兵器製造を特色とする工場として発達した。大正9年に世界最高速40.7ノットを記録した駆逐艦島風はここで建造された。
4-6	海上自衛隊舞鶴警備隊正門(旧舞鶴鎮守府西門)	未指定	舞鶴鎮守府を中心に東側と西側に市街地が造成されたが、境界にはそれぞれ東門と西門が設けられ、一般市民の立ち入りが制限された。西門は現在、海上自衛隊舞鶴警備隊の正門として移築保存されている。
4-7a	海上自衛隊舞鶴地方総監部大講堂及び海軍記念館収蔵資料(旧海軍機関学校大講堂及び鎮守府関係資料)	未指定	旧海軍機関学校大講堂は昭和8年(1933)に建築されたもので、現在は一部を初代司令長官・東郷平八郎をはじめ、旧鎮守府や海軍に関する貴重な資料を展示する海軍記念館として公開されている。
4-7b・c	海上自衛隊舞鶴地方総監部第一庁舎及び第四術科学校校舎(旧海軍機関学校庁舎及び生徒館)	未指定	旧海軍機関学校の校舎群は、海軍建築局長真島健三郎が大正10年(1921)のワシントン軍縮会議によって建造できなくなった艦船用鉄骨材を利用し、現代の超高層建築の耐震設計の基礎である動的解析理論に基づき、世界で初めて設計建築した建物である。
4-8	市道北吸・桃山線北吸トンネル(旧軍港引込線北吸隧道)	国登録	明治37年(1904)に官営舞鶴線の敷設と併せ、海軍施設への物資等運搬のために建設したれんが造の隧道。廃線となった後、現在は自転車道として親しまれている。
4-9	旧北吸浄水場配水池施設(旧舞鶴鎮守府水道施設) 9-a 旧北吸浄水場第一配水池 9-b 同 第二配水池	国重文	配水池は明治34年の建設で容量は2,400 m <sup>3</sup> 。深さ5.6mの石張りコンクリート造りで5列の煉瓦造導水壁が交互に並ぶ様子は大迫力がある。大正15年(1921)建築の上屋は鉄骨れんが造で、入口上部にロマネスク風デザインの煉瓦アーチを施す。約6km離れた桂貯水池から北吸浄水場に自然勾配で送られてきた水は、ろ過されて2基の配水池に貯水されたのち、艦艇や各施設に送られた。
4-10a	舞鶴市水道施設桂貯水池(旧舞鶴鎮守府水道施設桂取水堰堤)	国重文	舞鶴鎮守府開庁に向け、艦艇用の水を大量に確保するために明治33年(1900)に完成した。堰堤は当時の最新技術であった石張コンクリート造りで、高さ12.4m、天端幅2.2m、堰堤延長51.5m、貯水量8,000 m <sup>3</sup> の貯水池である。水門銘板には舞鶴出身の海軍次官伊藤隴吉の揮毫による「清徳靈長」の文字が刻まれている。
4-10b	舞鶴市水道施設岸谷貯水池(旧舞鶴鎮守府水道施設岸谷川下流取水堰堤)	国重文	大正10年(1921)、第2期拡張工事によって岸谷川下流に岸谷川を横断する延長143m、高さ30m、容量21万m <sup>3</sup> の重力式アースダム岸谷川下流貯水池堰堤や放水路等が築造された。
4-11	艦船名を名付けた市街地『新舞鶴市街図』	未指定	大正6年には「新舞鶴市街図」発行され、版が重ねられた。地図からは当時のまちの活気や発展の様子を伺うことができる。

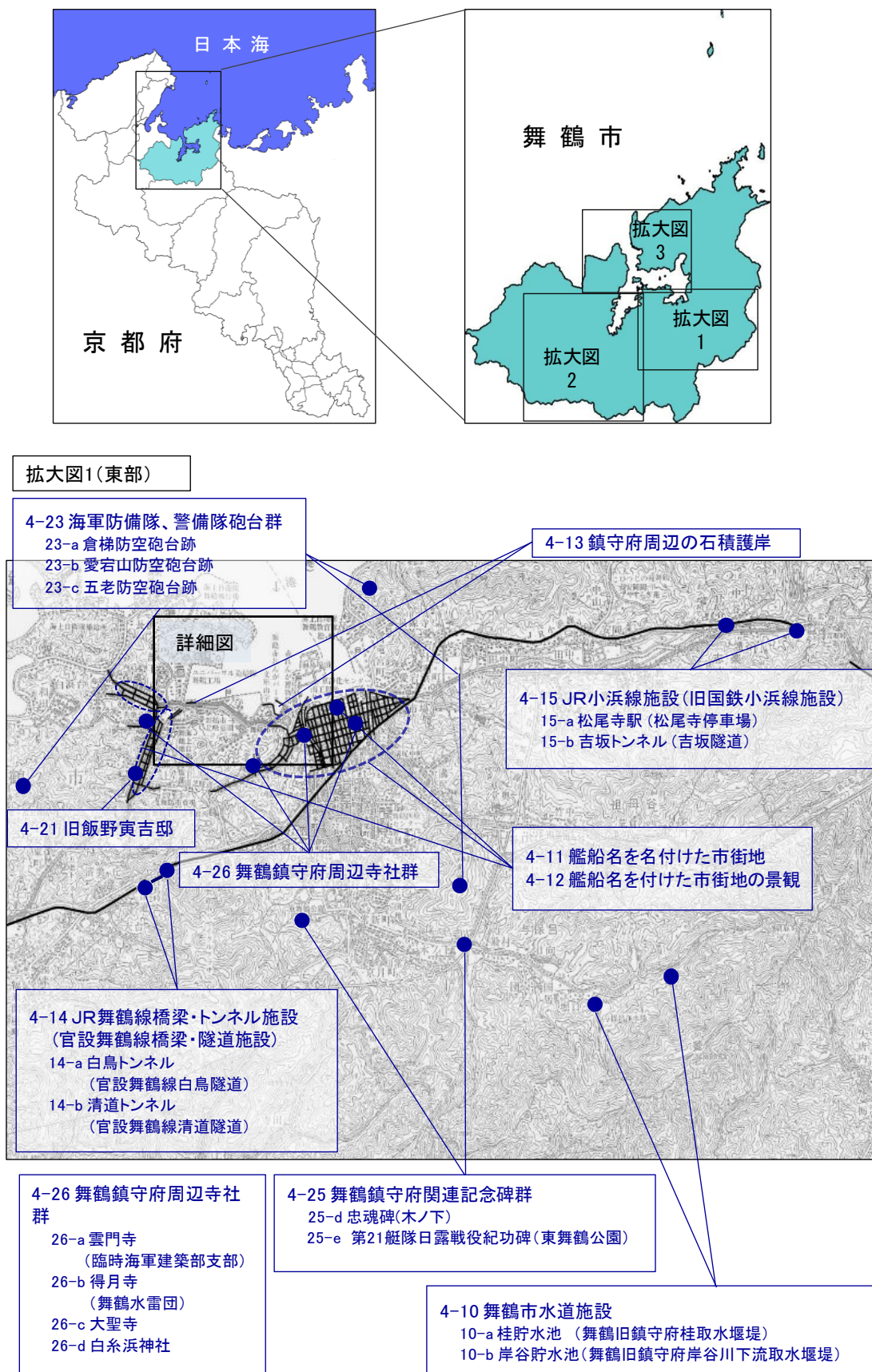
資料 3-1 日本遺産構成文化財 一覧 (2/2) (鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～)

NO.	文化財の名称	指定等	ストーリーの中の位置づけ
4-12	艦船名を名付けた市街地の景観	未指定	舞鶴市の市街地は、鎮守府開庁の翌明治 35 年に完成。碁盤目状の街路には戦艦、駆逐艦など 33 隻の名が付けられ現在に至る。艦船名の街路とその両側に並ぶ建物は市民の誇りである。
4-13	鎮守府周辺の石積護岸	未指定	新造成された鎮守府周辺の海岸や河川には、埋立て土砂の崩壊防止や艦艇、船舶の接岸のため総延長十数kmにわたり石積護岸が築かれた。石積みは、年代、場所、用途により様々な表情をみせている。
4-14	JR 舞鶴線隧道・橋梁施設 (官設舞鶴線隧道・橋梁施設)	未指定	明治 35 年 (1902)、日露両国間に緊張が高まるなか、政府は福知山～新舞鶴を結ぶ約 40km の区間に官設鉄道の敷設を決定。突貫工事によって 2 年後に完成し、運営は民間の阪鶴鉄道に委託された。区間にはれんが造の隧道や橋梁が今も現役で使用されている。
4-15a	JR 小浜線施設松尾寺駅 (旧国鉄小浜線松尾寺停車場)	国登録	鎮守府のまちの発展に伴い、北陸方面や山陰方面と結ぶ鉄道敷設の機運が高まり、国鉄小浜線が大正 11 年 (1923) に完成した。また、小浜線の松尾寺駅は、当時の姿を残す唯一の木造平屋建て駅舎として貴重である。隧道には新しいコンクリート造の技術が導入されている。
4-16a	京都丹後鉄道宮舞線隧道・橋梁施設由良川橋梁 (旧国鉄峰山線由良川橋梁)	未指定	山陰方面と結ぶ鉄道敷設の機運が高まり、国鉄峰山線が大正 13 年に完成した。舞鶴線、小浜線と合わせて東西南北の鉄道が完成し、舞鶴は近畿北部一の都市となった。なかでも、京都北部最大の河川である由良川河口部に架かる由良川橋梁は長さ約 550m、水面からわずか 3m の高さであり、壮観である。峰山線の橋梁の橋脚や隧道はコンクリート・石造である。
4-17	旧岡田橋	府指定	旧岡田橋は、明治 21 年 (1888) に京都官津間車道開鑿工事によって由良川支流の岡田川に架けられた石造単アーチ橋である。鎮守府の建設に必要な物資の陸路運搬にあたって大きな役割を果たした。
4-18	旧舞鶴要塞跡 (旧舞鶴要塞跡)	未指定	日露戦争を危惧し海岸防備を強化した海軍の軍港施設を守るため、陸軍築城部は明治 30 年～35 年にかけて舞鶴湾周辺 6 か所の山頂に砲台を築いた。現在の日星高等学校敷地に砲兵大隊が、西隣に要塞司令部が置かれていた。現在の高校正門は当時のもので往時を偲ばせている。
4-19	神崎煉瓦ホフマン式輪窯及び湊十二社手洗所 (旧京都竹村丹後製所窯所煉瓦窯)	国登録	明治 30 年 (1897)、京都の山田宗三郎が由良川河口の西神崎に京都竹村丹後製窯所を興し、登り窯で舞鶴軍港建設に必要なれんがを製造した。大正末期には窯を稼働効率の高いホフマン式輪窯 (長径 45m、短径 9m) に改造した。現在、全国で 4 基のホフマン窯が残っているが、大小 12 本もの煙突を有する窯は他に例がなく貴重である。隣接する湊十二社の境内に明治 36 年に奉納された美しいれんが造手洗所がある。
4-20	旧海軍北吸官舎群 (旧海軍北吸乙号官舎)	未指定	北吸官舎は、鎮守府に所属する海軍将校の官舎として明治 33 年 (1900) から 35 年にかけて甲号 (153 m <sup>2</sup> )、乙 (137 m <sup>2</sup> )、丙 (113 m <sup>2</sup> )、丁号 (73 m <sup>2</sup> ) の 4 種類、計 65 棟が建てられた。旧市長官舎は 11 棟あった乙号官舎のなかで現存する唯一の建物である。基礎や土間などにれんがやコンクリートが使用されており、海軍の先進性がうかがえる。
4-21	旧飯野寅吉邸	未指定	飯野寅吉は、福岡県出身で鎮守府開庁にともない飯野海運などを設立し、近代舞鶴の産業・経済の発展に寄与した人物である。邸宅は大正年間に建築されたもので、舞鶴を代表する近代和風建築である。
4-22	「海軍割烹術参考書」及び「海軍厨業管理教科書」	未指定	「海軍割烹術参考書」は、明治 41 年 (1908)、舞鶴海兵団がそれまでの教材等を収集して編集・発行した和・洋食のテキストであり、「海軍厨業管理教科書」には、甘煮 (肉じゃが) の調理方法が掲載されているなど、海軍が洋食文化の伝播に役割を果たしていたことがうかがわれる。
4-23	海軍防備隊、警備隊砲台群	未指定	軍港防衛のために建設された砲台群。
4-24	共楽公園 (海軍墓地)	未指定	鎮守府開庁からほどなく海軍等の戦没者の埋葬地として整備された。
4-25	舞鶴鎮守府関連記念碑群	未指定	舞鶴鎮守府の建設から終戦までの間に鎮守府のまちならではの記念碑や慰霊碑が建立された。
4-26	舞鶴鎮守府周辺寺社群	未指定	舞鶴鎮守府の開設に先立って寺院を利用した「臨時海軍建築部支所」及び「舞鶴水雷団」の設置や、鎮守府開設を契機に神社の合祀や鎮守山と号する寺院が建立された。
4-27	舞鶴鎮守府島嶼施設	未指定	舞鶴鎮守府の拡張・技術革新に伴い、新たに島嶼などに石積み護岸や棧橋が造成され、燃料を保管する施設等が築造された。
5-1	ラッパ君が代 ※ 4 市共通	未指定	海軍鎮守府時代、朝夕に、艦船上で軍艦旗の掲揚と降下に合わせて港に響き渡っていたラッパ「君が代」。そのラッパは現在も受け継がれ、軍艦旗と同じデザインの自衛艦旗の掲揚と降下に合わせて、護衛艦などの艦船上で同じメロディーのラッパ「君が代」が朝夕に港に響き渡っている。

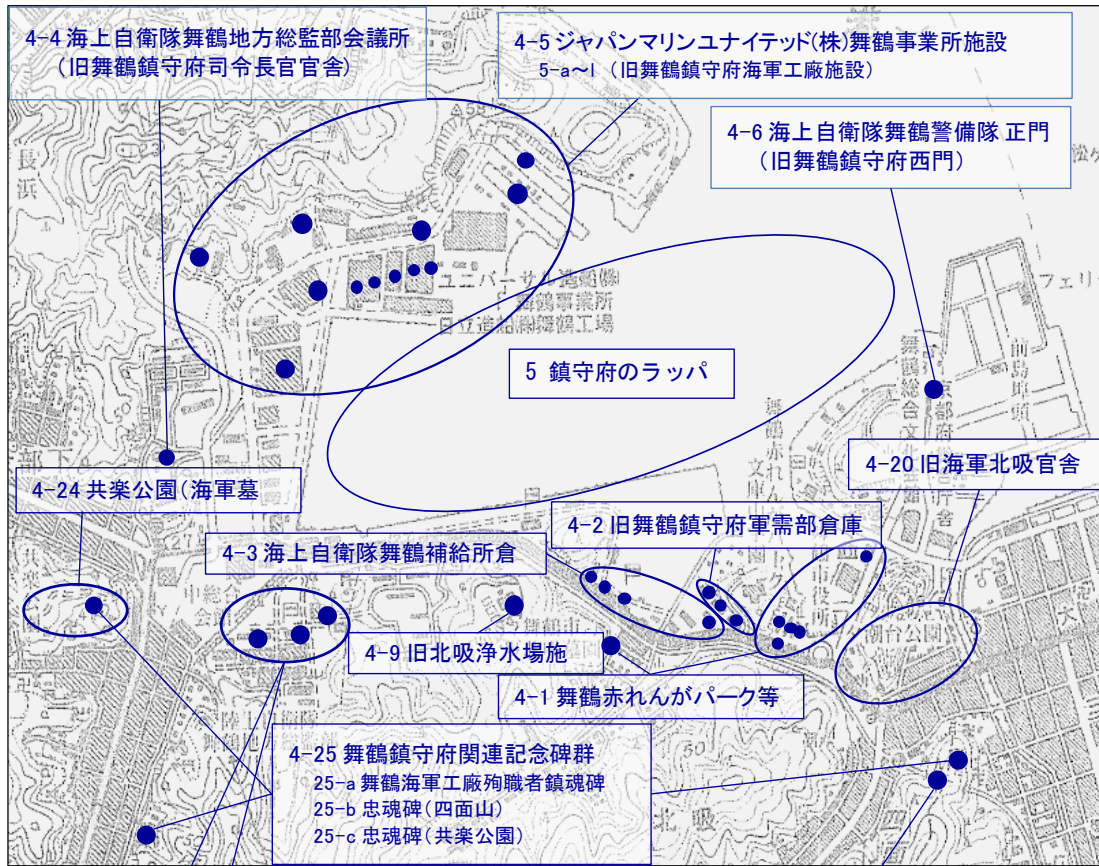
出典：日本遺産ポータルサイト



資料 3-2 日本遺産構成文化財 位置図（鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～）



詳細図(旧舞鶴鎮守府周辺)



4-7 海上自衛隊舞鶴地方總監部施設(旧海軍機関学校施設)

4-8 市道北吸・桃山線北吸トンネル  
(旧舞鶴鎮守府軍港引込線北吸隧道)

4-22 「海軍割烹術参考書」及び「海軍厨業管理教科書」

4-1 舞鶴赤れんがパーク等  
(舞鶴旧鎮守府倉庫施設)

- 1-a 舞鶴赤れんがパーク1号棟 舞鶴市立赤れんが博物館  
(舞鶴旧鎮守府倉庫施設 魚形水雷庫)
- 1-b 舞鶴赤れんがパーク2号棟 舞鶴市政記念館  
(舞鶴旧鎮守府倉庫施設 予備艦兵器庫)
- 1-c 舞鶴赤れんがパーク3号棟 まいづる智恵蔵  
(舞鶴旧鎮守府倉庫施設 弾薬庫並小銃庫)
- 1-d 舞鶴赤れんがパーク4号棟 赤れんが工房  
(舞鶴旧鎮守府倉庫施設 雑器庫並預兵器庫)
- 1-e 舞鶴赤れんがパーク5号棟 赤れんがイベントホール  
(舞鶴旧鎮守府倉庫施設 軍需部第三水雷庫)
- 1-f 舞鶴旧鎮守府軍需部揮発油庫

4-5 ジャパン マリンユナイテッド(株)舞鶴事業所施設  
(旧舞鶴鎮守府海軍工廠施設)

- 5-a 舞鶴館 (海軍工廠本館)
- 5-b 第二倉庫 (海軍工廠造兵機械場)
- 5-c 機装工場 (海軍工廠鑄造工場第二鑄造場)
- 5-d 複写室 (海軍工廠第五材料倉庫)
- 5-e 第三陸機工場(海軍工廠第一製缶場)
- 5-f 第三陸機工場(海軍工廠第二製缶場)
- 5-g 第4修理工場(海軍工廠現図場)
- 5-h 第二機械工場(海軍工廠外業工場)
- 5-i 第一機械工場(海軍工廠機械工場及び組立工場)
- 5-j 第2電気工場(海軍工廠発電場)
- 5-k 2号ドック (海軍工廠第一船渠)
- 5-l 3号ドック (海軍工廠第二船渠)

4-2 旧舞鶴鎮守府軍需部倉庫  
(舞鶴旧鎮守府倉庫施設 需品庫3棟)

- 2-a 第二水雷庫(旧需品庫)
- 2-b 第一水雷庫(旧需品庫)
- 2-c 電機庫(旧需品庫)

4-7 海上自衛隊舞鶴地方總監部施設  
(旧海軍機関学校施設)

- 7-a 大講堂・海軍記念館 (旧大講堂)
- 7-b 第一庁舎 (旧庁舎)
- 7-c 第四術科学校庁舎 (旧生徒館)

4-3 海上自衛隊舞鶴補給所倉庫

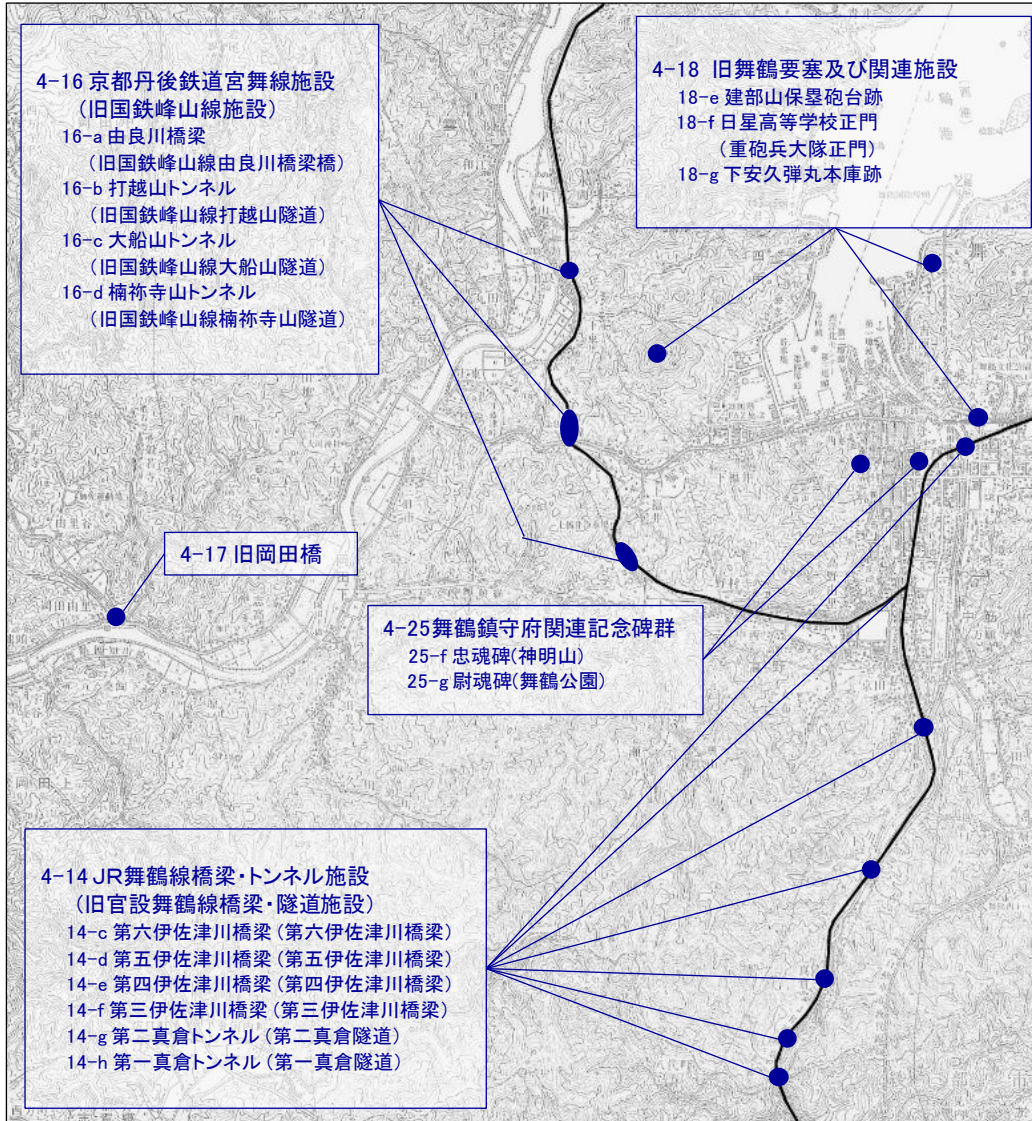
- 3-a No.2倉庫(旧舞鶴鎮守府衣糧庫被服庫)
- 3-b No.3倉庫(旧舞鶴鎮守府衣糧庫被服庫)
- 3-c No.4倉庫(旧舞鶴鎮守府軍需部第三被服庫)
- 3-d No.17倉庫(旧舞鶴鎮守府軍需部第一需品庫)

4-9 旧北吸浄水場施設 (舞鶴旧鎮守府水道施設)

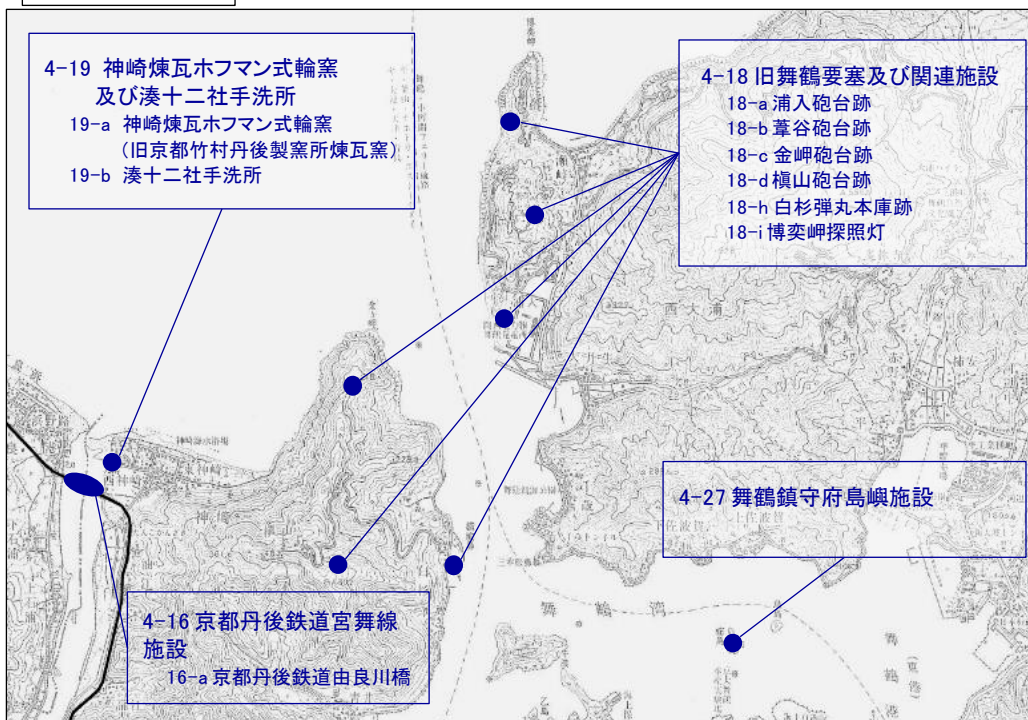
- 9-a 旧北吸浄水場第一配水池
- 9-b 旧北吸浄水場第二配水池



拡大図2(西部)



拡大図3(北部)

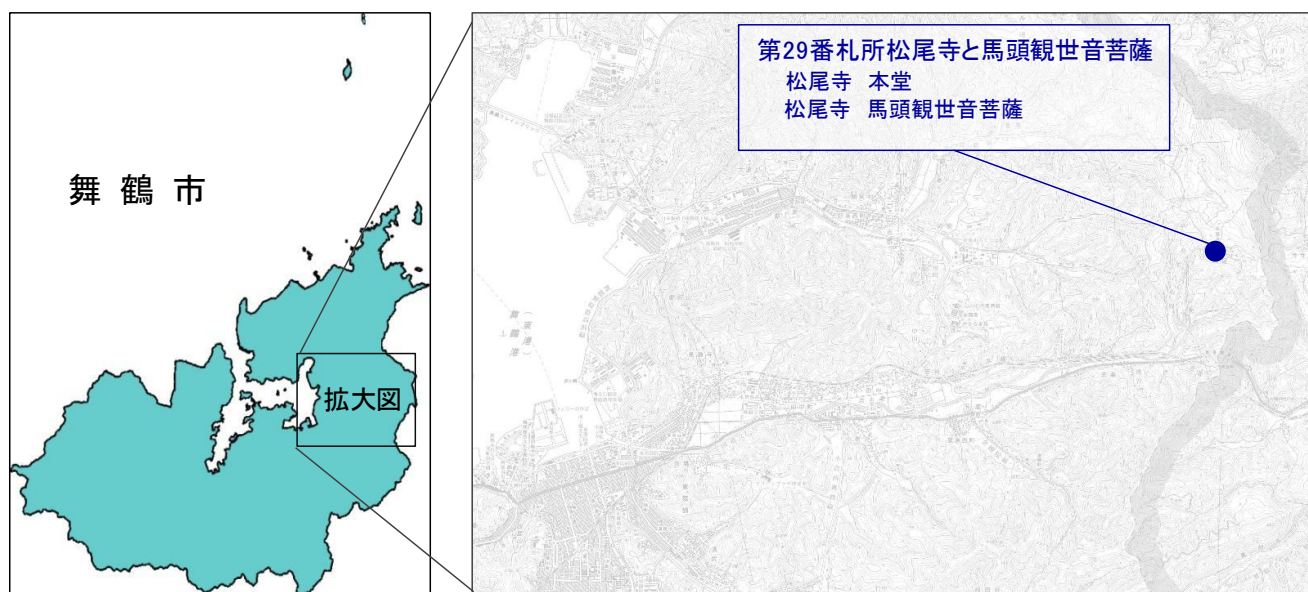


資料 3-3 日本遺産構成文化財 一覧 (1300 年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～)

NO.	文化財の名称	指定等	備考
1	松尾寺 本堂	府指定	和銅元年 (708)、唐の僧、威光上人が青葉山に登山したところ、松の大樹の下に馬頭観音を感得し、草庵を結んだのが、松尾寺の起こりと伝えられる。元永 2 年 (1119) には、鳥羽天皇の行幸があり、寺領 4000 石を給い、寺坊は 65 を数えて繁榮した。当地方唯一の国宝の仏画も、美福門院の念持仏であったといわれる。その後、度重なる火災にあったが、その都度、細川幽斎や京極家によって復興され、現代の本堂は、牧野英成により享保 15 年 (1730) に修築された。 当寺は、西国第 29 番札所であり、本尊である馬頭観世音は、農耕の守り仏、あるいは牛馬畜産、車馬交通、さらには競馬に因む信仰を広くあつめている。
2	松尾寺 馬頭観世音菩薩 (御前立)	未指定	松尾寺は、西国三十三霊場では唯一馬頭観世を本尊とする。

出典：西国三十三か所札所会資料

資料 3-4 日本遺産構成文化財 位置図 (1300 年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～)





資料 3-5 世界記憶遺産「舞鶴への生還」登録資料 一覧

分類	項目	資料内容	点数
A シベリア抑留体験の記録	日記	抑留中の日々の様子などが書かれたもの	3
	俘虜用郵便葉書(シベリアから日本宛)	抑留された人々から日本で待つ留守家族などに宛てたもの	189
	手帳・メモ帳	収容所で一緒だった仲間の名前・連絡先などが書かれた手作りのもの	2
	抑留体験画	抑留時のことが描かれたもの	91
	新聞	ソ連で抑留者向けに収容所内で発行された新聞	21
	名簿	シベリアで亡くなった仲間の名前・連絡先などが書かれたもの	4
	写真	ハバロフスク第2収容所で撮影されたもの	2
B 安否を気遣い帰還を願う日本の家族に関する資料	俘虜用郵便葉書(日本からシベリア宛)	日本で待つ留守家族などから抑留された人々に宛てたもの	21
	日誌	留守家族が抑留中の夫を思い書いたもの	3
	家計簿	留守家族の家計簿	1
	アルバム	留守家族の写真を収めたもの	1
	モスクワ放送の帰還情報に関する葉書類	偶然モスクワからのラジオ放送を聴き、抑留者の安否情報を留守家族に伝えた葉書の宛先不明で返送されてきたものとその安否情報の葉書を受取った留守家族からのお礼の葉書類	79
	名簿	安否情報の葉書を受取り、お礼の葉書類を送った留守家族の住所などをまとめたもの	1
	引揚援護局付の帰還者への手紙類	留守家族が引揚援護局へ送った帰還者に宛てたもの	15
安否に関するその他の手紙・葉書類	知人や先に帰還した人が、留守家族に抑留者の安否を尋ねたり、知らせたもの	18	
C 引揚関連資料	乗船者名簿一括	舞鶴港に入港した引揚船の乗船者名簿	24
	引揚調査書類	引揚者の状況を調査したもの	3
	書類	舞鶴市長が市民に宛てた回覧と舞鶴上陸地艦船乗組員の業務日誌	2
	ポスター	入港前夜引揚者の為に帰国大演芸会を催した際に使用したもの	1
	日誌	引揚船内でソ連の各収容所での体験を聞き取りしたもの	1
	貼り紙	舞鶴市婦人会が出した歓迎の貼り紙	1
	引揚証明書一括	引揚者に発行された証明書	83
	冊子	引揚者に配布された引揚手続きや上陸後の援護などについて説明したもの	4
合計			570 点

※ 市指定文化財「舞鶴引揚記念館収蔵資料群 I」2869 点と重複するものもある。



## 資料4 調査成果文献一覧

### ◆市史・報告書等市発行資料（1／3）

編著者	書名	発行	発行年
舞鶴市史編さん委員会	『舞鶴市史』各説編	舞鶴市	1975年
舞鶴市史編さん委員会	『舞鶴市史』史料編	舞鶴市	1973年
舞鶴市史編さん委員会	『舞鶴市史』通史編(上)	舞鶴市	1993年
舞鶴市史編さん委員会	『舞鶴市史』通史編(中)	舞鶴市	1978年
舞鶴市史編さん委員会	『舞鶴市史』通史編(下)	舞鶴市	1982年
舞鶴市史編さん委員会	『舞鶴市史』現代編	舞鶴市	1988年
舞鶴市史編さん委員会	『舞鶴市史』年表編	舞鶴市	1994年
舞鶴市史編さん室	『舞鶴市史編さんだより』(No.1～178)	舞鶴市史編さん室	1972～1982年
京都府教育委員会加佐郡部会	『加佐郡誌』	名著出版	1972年
舞鶴市	『舞鶴史話』	舞鶴市	1954年
舞鶴市文化財保護委員会	『舞鶴の文化財』	舞鶴市教育委員会	1973年
舞鶴市	『舞鶴の民家』	舞鶴市・舞鶴市教育委員会	2001年
舞鶴市	『舞鶴の近代化遺産』	舞鶴市・舞鶴市教育委員会	2001年
舞鶴市	『舞鶴の文化財』	舞鶴市教育委員会	2014年
舞鶴市	『舞鶴の絵地図』	舞鶴市	2017年
舞鶴市	『細川幽斎と舞鶴』	舞鶴市	2013年
舞鶴市	『舞鶴の守りたい自然』	舞鶴市	2008年
舞鶴市・まいづる環境市民会議	『舞鶴の守りたい自然2 舞鶴フィールドミュージアム』	舞鶴市	2015年
舞鶴市議会史編さん委員会	『舞鶴市議会四十年の歩み』	京都府舞鶴市議会	1983年
舞鶴市議会史編さん委員会	『舞鶴市議会五十年の歩み』	京都府舞鶴市議会	1993年
舞鶴市議会七十年史編集委員会	『舞鶴市議会の歩み—舞鶴市議会七十年史—』	舞鶴市議会七十年史編集委員会	2013年
舞鶴市田辺城資料館	『田辺城の歴史』	舞鶴市	2018年
渡辺 誠	『桑飼下遺跡第一次発掘調査概報』	舞鶴市教育委員会内桑飼下遺跡発掘調査委員会	1973年
舞鶴市教育委員会	『妙見山古墳発掘調査報告書』	舞鶴市教育委員会	1974年
渡辺 誠	『桑飼下遺跡第二次発掘調査概報』	舞鶴市教育委員会内桑飼下遺跡発掘調査委員会	1974年
渡辺 誠	『桑飼下遺跡発掘調査報告書 1975』	舞鶴市教育委員会	1975年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第6集 志高遺跡—昭和56年度花ノ木・ストロ葎下地区および久田美地区の調査概要—	舞鶴市教育委員会	1982年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第5集 高迫城跡 第2次発掘調査報告書	舞鶴市教育委員会	1984年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第7集 志高遺跡 一昭和58年度カキ安・舟戸地区の調査概要—	舞鶴市教育委員会	1984年
舞鶴市教育委員会	『志高遺跡Ⅰ』	舞鶴市教育委員会	1985年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第9集 浜村城跡発掘調査報告書	舞鶴市教育委員会	1985年

## ◆市史・報告書等市発行資料（2／3）

編著者	書名	発行	発行年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告書』第11集 田辺城 発掘調査から	舞鶴市教育委員会	1985年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告書』第12集 志高遺跡Ⅱ 一弥生土器の概要一	舞鶴市教育委員会	1986年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第13集 大川遺跡発掘調査概報	舞鶴市教育委員会	1987年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第14集 久田美遺跡発掘調査概報および上漆原城跡発掘調査概報	舞鶴市教育委員会	1990年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第16集 田辺城跡第11・12次発掘調査概報	舞鶴市教育委員会	1990年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第15集 舞鶴市遺跡地区	舞鶴市教育委員会	1990年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第17集 倉谷丸山2号墳発掘調査概報	舞鶴市教育委員会	1991年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第18集 行永遺跡発掘調査概報	舞鶴市教育委員会	1991年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第19集 中山城跡第3次発掘調査概報	舞鶴市教育委員会	1991年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第20集 多禰寺遺跡発掘調査概報	舞鶴市教育委員会	1992年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第21集 三庄太夫・城ヶ腰遺跡発掘調査概要	舞鶴市教育委員会	1993年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第22集 田辺城跡第15次発掘調査概報二/丸南門付近の調査	舞鶴市教育委員会	1993年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第23集 倉谷遺跡第2次発掘調査概要報告書	舞鶴市教育委員会	1994年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第25集 喜多家奥古墳発掘調査概要報告書	舞鶴市教育委員会	1995年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第26集 倉谷遺跡第3次発掘調査概要報告書	舞鶴市教育委員会	1995年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第27集 田辺城跡第16次発掘調査概要三/丸武家屋敷跡の調査	舞鶴市教育委員会	1995年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第28集 田辺城跡第17次発掘調査概要報告書	舞鶴市教育委員会	1995年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第32集 上佐波賀遺跡・天台南谷遺跡発掘調査概要報告書	舞鶴市教育委員会	2000年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第33集 浦入遺跡群発掘調査報告書 遺構編	舞鶴市教育委員会	2001年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第34集 泉源寺遺跡第2次発掘調査概要報告書	舞鶴市教育委員会	2001年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第35集 田辺城跡第21・22次発掘調査概要報告書 三/丸武家屋敷跡(第21次)・本丸堀石垣(第22次)の調査	舞鶴市教育委員会	2001年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第36集 浦入遺跡群発掘調査報告書 遺物図版編	舞鶴市教育委員会	2002年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第36集 浦入遺跡群発掘調査報告書 遺物本文編	舞鶴市教育委員会	2002年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第37集 女布遺跡第3次発掘調査概要報告書	舞鶴市教育委員会	2002年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第38集 三浜丸山古墳群発掘調査概要報告書	舞鶴市教育委員会	2002年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第39集 泉源寺遺跡第3次発掘調査概要報告書	舞鶴市教育委員会	2002年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第41集 引土出土銭一中世期大量埋藏銭の調査報告書一	舞鶴市教育委員会	2003年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第40集 田辺城跡第23次発掘調査概要報告書	舞鶴市教育委員会	2004年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第42集 田辺城跡第25次発掘調査概要報告書	舞鶴市教育委員会	2005年

## ◆市史・報告書等市発行資料（3／3）

編著者	書名	発行	発行年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第43集 平成19年度田畔遺跡発掘調査報告書	舞鶴市教育委員会	2008年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第44集 平成18年度田畔遺跡発掘調査報告書	舞鶴市教育委員会	2008年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第45集 田辺城跡第27次発掘調査報告書	舞鶴市教育委員会	2009年
野島永・脇山佳奈	『舞鶴市文化財調査報告』第46集 千歳下遺跡発掘調査報告書	広島大学大学院文学研究科考古学研究室・舞鶴市教育委員会	2012年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第47集 八雲遺跡発掘調査報告書	舞鶴市教育委員会	2012年
舞鶴市教育委員会	『舞鶴市文化財調査報告』第48集 田辺城跡第28次発掘調査報告書	舞鶴市教育委員会	2012年
舞鶴市	『舞鶴市文化財調査報告書』第50集 田畔遺跡第2次発掘調査報告書	舞鶴市	2019年
舞鶴市	『舞鶴市文化財調査報告書』第51集 田辺城跡第31次発掘調査報告書-本丸石垣の調査-	舞鶴市	2019年
舞鶴市	『舞鶴市文化財調査報告書』第52集 女布遺跡第4次発掘調査報告書	舞鶴市	2020年
舞鶴引揚記念館	『引揚手記 私の引き揚げ』上・下巻	舞鶴引揚記念館	1994年
舞鶴市	海外引揚四十周年記念誌『引揚港 舞鶴の記録』	舞鶴市	1985年
舞鶴市秘書課	市制40周年記念『舞鶴市市勢要覧 1983』	舞鶴市	1983年
舞鶴市秘書課	市制50周年記念『舞鶴市市勢要覧 1993』	舞鶴市	1993年
舞鶴市秘書課	『写真でたどる ふるさとの歩み～写真展「舞鶴の戦後50年」から～』	舞鶴市	1996年
舞鶴市秘書課	『ふるさと今昔写真集～舞鶴の歴史写真展から～』	舞鶴市	1994年

## ◆府発行報告書等

編著者	書名	発行	発行年
京都府教育委員会	『京都の文化財』第1集～	京都府教育委員会	1983年
京都府教育庁指導部文化財保護課	『京都府中世城館跡調査報告書』第1冊 丹後編	京都府教育委員会	2012年
京都府埋蔵文化財調査研究センター	『京都府遺跡調査報告書』第12冊 志高遺跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	1989年
京都府埋蔵文化財調査研究センター	『京都府遺跡調査報告書』第29冊 浦入遺跡群(図版編)	京都府埋蔵文化財調査研究センター	2001年
京都府埋蔵文化財調査研究センター	『京都府遺跡調査報告書』第29冊 浦入遺跡群(本文編)	京都府埋蔵文化財調査研究センター	2001年

## ◆史料集等（1／2）

編著者	書名	発行	発行年
長浜宇平	『丹後史料叢書』第1～9輯	名著出版	1972年
井上金次郎	『舞鶴地方史料集』田辺藩寺社史料集 その一～三	長谷山房	1977～79年
賢美閣	『丹哥府志』	日本佛書センター	1979年
舞鶴地方史研究会	『ふるさとの思い出 写真集 明治・大正・昭和 舞鶴』	国書刊行会	1983年
河辺八幡神社資料調査会	『河辺八幡神社資料調査報告書』第1・2集	河辺八幡神社資料調査会	1997・98年
京都府立丹後郷土資料館	『丹後国加佐郡上安久村安久家文書目録』	京都府立丹後郷土資料館	2007年
建築研究協会	『舞鶴市指定文化財 旧舞鶴鎮守府兵器廠弾丸庫並小銃庫(まいつる智恵蔵)修理工事報告書』	舞鶴市教育委員会	2007年

## ◆史料集等（2／2）

編著者	書名	発行	発行年
菅原憲二	『丹後国田辺城下竹屋町文書目録』	千葉大学文学部史学科菅原研究室	2011年
菅原憲二	『丹後国田辺城下竹屋町文書史料集』	千葉大学文学部史学科菅原研究室	2013年

## ◆字史等

編著者	書名	発行	発行年
郷土誌岡田下編さん委員会	『郷土誌 岡田下』	岡田下公民館	1977年
瀬野祐幸	『鎮魂碑物語 余部下村覚え書き』第4集	瀬野祐幸	1979年
真下 博	『ふるさと女布』	山田八郎	1985年
「郷土誌岡田中」編さん委員会	『ふるさと岡田中』	岡田中公民館	1988年
嵯峨根一正	『わが郷土 まぐら』	嵯峨根一正	1989年
『火祭りの里』城屋編集委員会	『火祭りの里 城屋』	城屋老人会	1992年
「八雲のれきし」編さん委員会	『八雲のれきし』	八雲公民館	1996年
福来東公民館運営委員会	『村の詩』	福来東公民館運営委員会	1997年
「郷土史岡田上」編さん委員会	『郷土史 岡田上』	岡田上公民館	1997年
舞鶴市市場隣保館	『地区内学習資料 市場上の歴史を求めて』	舞鶴市市場隣保館	1997年
「我が郷土」郷土史研究会	『郷土史 我が郷土 池内』	池内郷土史研究会(池内ふるさと文化協会)	1999年
旧北会	『北吸邑』	旧北会	1999年
郷土誌「ふるさと岡田中」編集委員会	『郷土誌 ふるさと岡田中』20世紀写真集	郷土誌「ふるさと岡田中」編集委員会	2001年
中筋文化協会郷土誌編纂委員会	『郷土誌 中筋のむかしと今』上・下	中筋文化協会	2003年
元字行永会編纂委員会	『行永史』	元字行永会	2009年

## ◆学校史

編著者	書名	発行	発行年
明倫百年誌編さん委員会	『明倫百年誌』	明倫小学校百周年記念事業会	1973年
吉原百年誌編さん委員会	『吉原百年誌』	吉原小学校百周年記念実行委員会	1975年
丸山小学校創立百周年記念事業実行委員会記念誌編集委員会	『わが郷土 丸山小学校創立百周年記念誌』	山崎隆三	1976年
倉梯小学校百周年記念誌編さん委員会	『創立百周年記念誌 くらはし』	舞鶴市立倉梯小学校創立百周年記念事業運営委員会	1977年
舞鶴幼稚園創立百周年記念事業実行委員会記念誌部	『百年のあゆみ』	舞鶴幼稚園創立百周年記念事業実行委員会	1984年
記念誌編集委員会	『泉源』京都府立東舞鶴高等学校創立50周年記念誌	創立50周年記念事業実行委員会	1990年
舞鶴市立三笠小学校創立五十周年記念事業実行委員会	『三笠校 五十年の歩み』	舞鶴市立三笠小学校創立五十周年記念事業実行委員会	1990年
田井小学校閉校記念文化的事業委員会	『閉校記念誌 田井の教育と歴史』	田井小学校閉校記念事業実行委員会	1991年
野原小学校閉校記念誌編集委員会	『閉校記念誌 野原』	野原小学校閉校記念事業実行委員会	1991年
若浦中学校創立十周年記念実行委員会	『若浦中学校創立十周年記念誌 わかうら』	若浦中学校創立十周年記念実行委員会	1992年
大丹生小学校文化的事業委員会	『閉校記念誌 大丹生校 118年』	舞鶴市立大丹生小学校閉校記念事業実行委員会	1993年
百年記念事業実行委員会記念誌部	『創立100周年記念誌 地域と共に歩んで』	舞鶴市立新舞鶴小学校	2002年

◆団体史および個人団体の研究成果等（1／2）

編著者	書名	発行	発行年
明石吉五郎	『嶺田楓江』	千葉彌次馬	1919年
水島彦一郎	『有本國藏翁』	舞鶴町立図書館	1931年
水島彦一郎	『有本國藏翁 國を出て六十年』	舞鶴町役場	1937年
山本四郎	『新宮涼庭傳』	ミネルヴァ書房	1968年
ダイヤモンド社	『大和紡績30年史』	大和紡績株式会社	1971年
細川護貞	『細川幽齋』	求龍堂	1972年
新舞鶴小学校郷土史研究室	『新舞鶴校下の新田 浮島を中心とする近世農民新田開発の歴史地理学的研究』	新舞鶴小学校郷土史研究室	1972年
舞鶴建築組合	『舞鶴建築組合史』	舞鶴建築組合	1973年
20周年実行委員会広報部会	『まいつるの道 20年のあゆみ/まいつるの道 ふるさと民話めぐり』	舞鶴青年会議所	1976年
由良川改修史編集部	『由良川改修史』	建設省近畿地方建設局福知山工事事務所	1980年
「佐谷靖氏を偲ぶ」文集発刊委員会	『佐谷靖氏碑』	サンケイ新聞生活情報センター	1981年
吉田美昌	『あゝ母なる国—引揚記録—』	あゝ母なる国引揚記録刊行委員会	1982年
船越英俊	『桂林の門葉』	般若寺	1983年
萩原 勉	『海軍のまち—舞鶴の回想—』	関西書院	1985年
引揚港「まいつる」を偲ぶ全国の集い実行委員会	『手記 私の海外引き揚げ』	引揚港「まいつる」を偲ぶ全国の集い実行委員会	1985年
瀬野尚憲	『波濤 舞鶴平和懇談会 舞鶴平和委員会の記録』	瀬野尚憲	1986年
雲門寺	『普明國師と雲門寺』	雲門寺	1987年
洛友会編集委員会	『失われた青春 舞鶴海軍工廠女子動員学徒の記録』	洛友会	1988年
岡本孝太郎	『舞廠造機部の昭和史』	鶴桜会	1989年
佐藤正夫	『伊藤雋吉とその時代』	伊藤雋吉顕彰会	1990年
結 踏一郎	『リンデンの梢ゆれて 大江季雄の青春』	出版芸術社	1991年
村松俊夫	『舞鶴ふるさとのやしろ』	村松俊夫	1992年
瀬野祐幸	『鐘声 旧舞鶴海軍工廠殉職者五十回忌ほか』	旧舞鶴海軍工廠殉職者慰霊碑保存会・旧令国家公務員共済年金者舞鶴共友会	1996年
運輸省第三港湾建設局舞鶴港湾工事事務所	『舞鶴港湾工事事務所 50年のあゆみ』	運輸省第三港湾建設局舞鶴港湾工事事務所	1998年
安田重晴	『まいつる田辺 道しるべ』	まひつる	1998年
大和紡績株式会社社史編纂室	『ダイワボウ60年史』	大和紡績株式会社	2001年
池田叡子	『古道を訪ねて』	大垣書店	2002年
関本長三郎	『住民の目線で記録した旧日本海軍第三火薬廠』	出版センターまひつる	2005年
高橋聰子	『舞鶴の歴史 まほろば逍遥』	高橋聰子	2006年
写真集を作ろう実行委員会	『ダイワボウ舞鶴工場 写真で見る70年の歴史』	ダイワボウ舞鶴工場OB会 大和高野会	2009年
舞鶴・引揚語りの会	『引揚の記録 60余年の記憶の中から』	舞鶴・引揚語りの会	2011年
安田重晴	『まいつるの庚申信仰と歴史』	安田重晴	2011年
加藤 晃	『ぶらり城下町田辺—舞鶴』	舞鶴市民新聞社	2012年
戦争・空襲メッセージ編さん委員会	『手記と座談会で語り継ぐ 舞鶴空襲』	つむぎ出版	2012年
公文公雄	『野田笛浦詩集』	公文公雄	2013年

◆団体史および個人団体の研究成果等（2/2）

編著者	書名	発行	発行年
加藤 晃	『保存版 ふるさと舞鶴』	郷土出版社	2013年
新谷一幸	『多門院歴史探訪 ロマンと哀愁をこめて』	新谷一幸	2014年
編集工房 is	『日本女子水泳のパイオニア 菅谷初穂の歩み』	菅谷定彦他	2014年
公文公雄	『新宮涼庭集』	公文公雄	2015年
公文公雄 訳・注	『田辺(舞鶴)の生んだ快男児 嶺田楓江集』	公文公雄	2016年
公文公雄 訳・注	『舞鶴藩最後の家老 如松軒人遺稿集』	株式会社 モトキ	2018年

◆大学・研究会等の研究成果

編著者	書名	発行	発行年
両丹地方史研究者協議会	『両丹地方史』第1号～	両丹地方史研究者協議会	1964年～
舞鶴地方史研究会	『舞鶴地方史研究』第1号～	舞鶴地方史研究会	1965年～
財団法人永青文庫・毎日新聞社	『戦国武将のロマンと文化展』	毎日新聞社	1979年
京都国立博物館	特別展覧会『細川家コレクション 東洋美術』	毎日新聞社	1981年
熊本県立美術館	第12回永青文庫展『細川三代』	熊本県立美術館	1982年
石田晴男・今谷明・土田将雄	『綿考輯録』第1～4巻	出水神社	1988年
<small>京都工芸繊維大学工芸学部造形工学科日本建築研究室伝統建築研究会</small>	『舞鶴市西地区歴史的建造物調査報告書一城下町田辺の町並み一』	舞鶴市	1993年
井上金次郎	『目で見える舞鶴・宮津・丹後の100年』	郷土出版社	1995年
綾部市資料館ほか	『由良川歴史散歩 2002』遺跡・水運・伝説	綾部市資料館ほか	2002年
梅本政幸他7名	『保存版 舞鶴・宮津・丹後の今昔』	郷土出版社	2004年
舞鶴山城研究会	『舞鶴の山城—戦国時代を訪ねる—』	舞鶴山城研究会	2009年
坂根嘉弘	『軍港都市史研究』I 舞鶴編	清文堂出版株式会社	2010年
熊本大学文学部附属永青文庫研究センター	『永青文庫叢書 細川家文書』中世編	吉川弘文館	2010年
熊本県立美術館	没後400年・古今伝授の間修復記念『細川幽齋展』	熊本県立美術館	2010年
東京国立博物館他5団体	『細川家の至宝 珠玉の永青文庫コレクション』	NHK・NHK プロモーション	2010年
熊本大学文学部附属永青文庫研究センター	『永青文庫叢書 細川家文書』絵図・地図・指図編 I	吉川弘文館	2011年
熊本大学文学部附属永青文庫研究センター	『武将 幽齋と信長 細川家古文書から』	熊本日日新聞社	2011年
上杉和央	『軍港都市史研究』II 景観編	清文堂出版株式会社	2012年
森 正人・稲葉継陽	『細川家の歴史資料と書籍 永青文庫資料論』	吉川弘文館	2013年
東昇	『京都府立大学文化遺産叢書』第11集 舞鶴地域の文化遺産と活用	京都府立大学文学部歴史学科	2016年
藤本仁文	『京都府立大学文化遺産叢書』第12集 「丹後の海」の歴史と文化	京都府立大学文学部歴史学科	2017年
東昇・菱田哲郎	『京都府立大学文化遺産叢書』第14集 舞鶴・京丹後地域の文化遺産	京都府立大学文学部歴史学科	2018年
熊本県立美術館	『細川ガラシャ』	細川ガラシャ展実行委員会	2018年
東昇	『京都府立大学文化遺産叢書』第16集 舞鶴の地域連携と世代間交流 井上奥本家文書調査報告	京都府立大学文学部歴史学科	2019年
美浜町教育委員会	『美浜町歴史シンポジウム記録集14』近世若狭の交通と往来～道、旅、道標	美浜町教育委員会	2020年



**資料5 舞鶴市文化財保存活用地域計画の骨子**

◎ 主として取組む  
○ 協力して取組む  
△ 一部を取組む

短期 3年  
中期 5年  
長期 10年

保存と活用に関する課題	保存活用に関する基本方針	事業No.	事業内容	取組み主体						事業計画期間			財源			
				市民	専門家	団体	文化財部局	行政(関連部局)	短期	中期	長期					
<p><b>課題1 探る・学ぶ取り組みに係る課題</b></p> <p>・指定等文化財の継続的調査や未指定の歴史文化遺産を総合的に把握するための調査の継続と拡充が課題である ・史跡の指定件数が少なく、公開に向けた整備が進んでいない ・子どもたちが地域を探る取組の継続が必要であると共に、市民を巻き込んだ歴史文化遺産を探る取組が進んでいない</p> <p>「地域のたからもの」発見の取り組みのひとつである「ふるさと学習」の継続と義務教育を終えた高校生等、若者層への「ふるさと学習」を拡充する必要がある ・地域のたからものを有する地区の連携活動の推進、市民・行政・関係機関等の連携、子どもたちによる地域発見の取り組みも含め、幅広い活動支援の拡充等により、歴史文化遺産を「学ぶ」機会や場の創出が必要とされる</p> <p>「世界記憶遺産や日本遺産等のブランド力のさらなる活用の余地がある。また、日本遺産構成文化財に追加された鳥嶼施設等について、今後の公開・活用の方針の検討が必要である ・現役で使用している歴史的建造物が舞鶴の特徴であり、これらの保存とともに活用の拡充が必要である ・地域や子どもたちによる歴史文化遺産の魅力・発信に係る取り組みの継続が課題であり、市民・団体と専門家、行政が連携し、こうした活動の支援が必要である ・歴史文化遺産は市内に点在しており、これらのネットワーク化、アクセス手段の確保が課題となっている ・森林荒廃や遊休農地化が進んでおり、農林水産業や伝統産業等が地域の魅力発信に活用されていない</p> <p>・歴史文化遺産に関する情報検索サイトが十分に確立していない ・歴史文化遺産の魅力や価値が市民に共有されていないため、情報発信力の拡充が必要とされる ・先端技術を活用した多様な情報発信ツールに関する取組の拡充が必要である ・郷土資料館などの施設間連携や情報発信が十分ではない。</p>	<p>基基基基基 本本本本本 方方方方方 針針針針針 五四三二一</p> <p>歴歴歴歴歴 史史史史史 文文文文文 化化化化化 ススののののの ト魅魅魅魅 ルカカカカ リををををを 保引活保 を全きか を構活継す・ 成用く学 るるるるる 関た 連め の文仕 化組 群み を保つ 存くり り活 だ用す を 進め る</p>	<b>方針1-1 歴史文化の魅力を探る</b>														
		1	指定等文化財の学術調査の推進	指定等文化財の学術調査を継続し、その価値の顕在化を進める				◎							国補助・市費	
		2	未指定の歴史文化遺産の把握調査等の実施	大学等研究機関の支援や市民・団体の協力のもと、未指定の近代以降の建造物や文化財の類型に当てはまらない歴史文化遺産について把握調査や詳細調査を進める	○	○	○	◎								国補助・市費
		3	遺跡の継続的な発掘調査	遺跡等の発掘調査・学術調査を継続的に進める。また、白杉古墳等史跡指定および公開のための整備を検討する			○	◎								国補助・府補助・市費・その他
		4	史跡整備に向けた取り組みの実施	白杉古墳等地域の歴史を知るうえで重要な遺跡の史跡指定および公開のための整備に向けた検討を進める			○	◎								国補助・府補助・市費
		5	「舞鶴歴史文化遺産叢書(仮称)」の刊行	『舞鶴の○○』シリーズを「舞鶴歴史文化遺産叢書」として発展、特徴的な歴史文化遺産の学術調査を進め図録にまとめ刊行する	△	◎	△	◎								市費
		6	市民を巻き込んだ歴史文化遺産調査体制の構築	市民と歴史文化遺産の情報を共有し、その価値の掘り起こしに向けた体制を構築する	◎	○	◎	○								国補助
		7	学校教育における地域を探る取組の継続	小中学生から高校生を含め、子どもたちが自ら地域を探り・学び・広く発信する特色ある取り組みを継続する	◎	◎	○	○	◎							市費
		<b>方針1-2 歴史文化の魅力学ぶ</b>														
		8	まちづくり出前講座の開催	市民を対象に歴史文化遺産に関する出前講座を引き続き開催する。また学校向け出前講座メニューを拡充する				◎								市費
		9	ふるさと学習の継続	学校教育との連携により小中学生や高校生がふるさとの歴史文化を学ぶ機会を継続して実施する	◎	◎	◎	◎	◎							市費
		10	郷土資料館展示・講演会の開催	調査研究成果を踏まえた展示・講演会の開催や同好会の学習支援を通じ、市民に専門的な知識を学ぶ機会を提供する	○			◎								市費
		11	食育の推進	京饈や万願寺甘とう等の特産品を使った学校給食を通じ、ふるさと農林水産業に対する理解を深めるための食育を継続する	◎				◎							市費
		12	まち歩きの実施による新たな担い手育成	地域単位のまち歩き等の実施を通じ、地域の歴史文化遺産を学ぶ機会を提供することで新たな担い手を育成する	◎	△	△	○	◎							市費
		13	市民講座の開催などの地元学事業の継続実施	公民館等を拠点として歴史文化遺産の価値や魅力を伝える地元学事業を継続し、市民の学ぶ機会を充実する	◎	△	△	○	◎							市費
		<b>方針2-1 歴史文化の魅力を活かす</b>														
		14	世界記憶遺産・日本遺産等を活用した観光振興	世界記憶遺産・日本遺産・日本の20世紀遺産等のブランドを活かした取組みを進め、観光振興につなげる	△	△		◎	◎	◎						国補助・府補助・市費
		15	舞鶴らしい歴史的建造物活用の推進	若の湯や乙号官舎など舞鶴らしい歴史的建造物活用の拡充を図る	△	△		◎	◎	◎						国補助・市費
		16	歴史文化を活用する市民活動の拡充	生涯学習の推進により地域公共人材の育成、子どもたちも含めた世代間公有の取組により市民活動を拡充する	◎			◎	○	◎						市費
		17	歴史文化遺産周遊のルート開発・アクセス手法検討	市内の歴史文化遺産周遊ルートを開発するとともに、無人バスの運行など最新技術を用いたアクセス手法を検討する	◎	△	◎	◎	◎							国補助・府補助・市費
		18	地域素材を活かした特産品づくりなどの企画開発	歴史文化遺産を活かした特産品の開発など五感を使った新しい企画開発を進める	○	○	◎	○	○							団体費
		19	農林水産業の第6次産業化	農林水産業全般の第6次産業化を進め森林荒廃や遊休農地化を改善する	◎			◎		○						団体費・市費
		<b>方針2-2 歴史文化の魅力を情報発信する</b>														
		20	広報・HPへの定期的な情報発信	市民に対し歴史文化遺産の周知や興味関心を高めるため広報やHPIに定期的な情報発信を行う				◎								市費
		21	多言語表記による案内板・案内マップの整備	多言語表記による案内板の整備・案内マップの作成とともに市民と協働し、地域の歴史文化遺産の説明板の整備を進める				◎	○	◎						国補助・市費
		22	歴史文化遺産周知・認識・発信の最先端ツールの拡充	地図アプリやVR・AR等の先端技術を活用するほか、webやSNS等歴史文化の魅力の周知・発信のためのツールを拡充する	△	○	◎	◎	◎							国補助・府補助
		23	祭礼の動画作成	魅力的な祭礼の動画を作成し、子どもたちの教材とする他、広くその魅力を発信する	○	○	◎	◎								国補助・府補助
		24	活用のためのプロモーションの推進	価値や魅力を発信する多角的なプロモーションを企画・推進することで歴史文化遺産の活用を推進する	△	◎	◎	○	◎							国補助・府補助
		25	フィルムコミッションの継続	舞鶴の歴史文化の魅力を外に伝えるフィルムコミッションの取組を継続する		◎	◎		◎							市費
		26	歴史文化遺産の情報検索サイトの構築	市内外から舞鶴の歴史文化遺産に触れる機会となる情報検索サイトを構築する					◎							国補助
		27	資料館等の連携による情報発信・展示解説手法の開発	市内4つの資料館等の連携による情報発信の強化、音声ガイド・AI等を活用したわかりやす展示解説・館内案内手法の開発を進める		◎	◎	◎	◎							市費
		<b>方針3 歴史文化の魅力を引き継ぐ</b>														
		28	指定等文化財の確実な保存	繊細な指定等文化財についてはその状況を丁寧に把握し、確実な保存を進める	△	○		◎								国補助・府補助
		29	文化財保存事業の計画的実施	指定等文化財に係る保存活用計画作成の他、歴史文化遺産の保存事業を計画的に進める		△		◎								国補助・府補助
30	新たな文化財の指定・登録等の推進	調査により学術的価値を明らかにし、歴史文化遺産の指定・登録等を推進する		○		◎								市費		
31	文化財保全等補助	未指定を含めた有形・無形の歴史文化遺産の保存のための財政的支援も含めた各種支援の継続					◎							国補助・府補助・市費		
32	歴史文化遺産収蔵施設の集約化	市内に分散収蔵する考古・民俗資料の一元的な管理・保管のため、収蔵施設の拡充を図るとともに、収蔵施設の集約化を検討する					◎	○						市費		
33	歴史文化遺産と周辺環境との一体的保存	舞鶴らしい歴史文化遺産と周辺環境の一体的な保存により地域の魅力を引き継ぐ	○	○	○	◎	◎							国補助・府補助		
34	歴史文化遺産のデータベース化	歴史文化遺産のデータベース化を進め、誰もが情報を共有できる仕組みを整備する					◎	○						市費		
35	財源確保の仕組みづくり	歴史文化遺産保存・活用のための財源確保のため、ふるさと納税やクラウドファンディング活用等の仕組みづくりを進める	○			◎	○	◎						寄付		
36	文化財ハザードマップ・危機管理マニュアルの作成	災害危険個所の把握・共有および指定文化財を中心とした災害発生時の危機管理マニュアルの作成						◎	◎					市費		
37	大規模災害に備えた体制構築	大規模災害に備えた文化財レスキュー等のための体制を構築する	○	○	○	◎	○							国補助・市費		
38	指定文化財等の防災・防犯設備の整備推進	歴史文化遺産を災害等から保全するため、防災・防犯設備の整備を推進する	△		△	◎	○							国補助・府補助・市費		

保存と活用に関する課題	保存活用に関する基本方針	事業No.	事業内容	取り組み主体					事業計画期間			財源	
				市民	専門家	団体	文化財部局	行政(関連部局)	短期	中期	長期		
<b>課題4 体制づくりに係る課題</b> ・歴史文化遺産の保存・活用に取り組む専門人材の拡充が必要とされている ・防災・防犯の視点から地域による歴史文化遺産の見守り活動の継続的な取り組みが必要である ・指定等文化財に準ずる価値ある歴史文化遺産の保存のための取り組みとして新たな制度的枠組みの検討が必要である  ・舞鶴に暮らす様々な市民との協働による情報発信などの事業展開が十分ではない ・歴史文化を活かしたまちづくりの庁内連携の推進が必要とされる ・周辺市町や日本遺産推進協議会との連携、姉妹都市を含めた海外交流、まちづくり団体や大学等研究機関との連携の推進が必要である	基本基本基本基本 本本本本本本 方方方方方方 針針針針針針 五五五五五五 四四四四四四 三三三三三三 二二二二二二 一	<b>方針4-1 歴史文化を保全・活用する体制を構築する</b>											
		39	歴史文化遺産の調査研究・保存・活用に係る専門的な人材の確保	歴史文化遺産の専門的な人材である学芸員や技術者の配置を進める。				○	◎		■	■	市費
		40	歴史文化に関わる地域活動支援制度の創設	歴史文化に関わる地域活動・市民活動を支援する制度を創設する	△	△	○	◎	○	■	■		市費
		41	府文化財保護指導委員による巡視	歴史文化遺産の保存管理、普及のため府文化財保護指導委員が巡視を行う	○	○		○		■	■	■	府費
		42	地域による歴史文化遺産の見守り活動の維持	本計画の周知に努め、地域の寺社等、身近な歴史文化遺産について市民による見守り活動を継続的に維持する			◎	△	○	○	■	■	市費
		43	「舞鶴市市民遺産制度(仮称)」の創設	歴史文化遺産継承のための「市民遺産制度(仮称)」の創設を検討する		◎		◎	◎	○	■	■	市費
		<b>方針4-2 多様な主体との連携により広がりある事業を展開する</b>											
		44	多様な市民との協働事業の展開	舞鶴に学び、働く学生や社会人とその家族などを含め多様な市民との協働による歴史文化の保存・活用事業を展開する	◎		◎	◎	◎		■	■	市費
		45	関係各課との連携事業の実施	まちづくり・景観・防災・産業に係る関係各課との連携による事業を実施する				◎	◎		■	■	市費
		46	歴史文化を通じた国際交流の推進	海に開かれた舞鶴の特性を活かし、姉妹都市も含めた青少年国際交流の取組や情報発信を継続して進める	◎		◎		◎		■	■	市費・団体費
		47	他の自治体との連携の促進	日本遺産協議会、海の京都関連自治体と連携した取組みを促進する				◎	◎		■	■	市費・府補助
		48	まちづくり団体との連携促進	ワークショップの開催等、NPOや文化財保存団体等と連携し、歴史文化遺産のまちづくりへの活用に取り組む				◎	◎	◎	■	■	市費・団体費
		49	大学等との連携の持続的推進	京都府立大学地域貢献型特別研究(ACTR)の活用等、大学など専門的知識を有する人材との連携を継続し、歴史文化遺産の保存・活用に取り組む		◎	○	◎	◎		■	■	市費・団体費
		<b>課題5 関連文化財群のストーリーごとの課題</b>											
<b>全体</b>													
・舞鶴らしい歴史文化遺産と周辺の海や山が一体となった活用が十分ではない ・歴史文化ストーリーの発信が十分ではない													
<b>多様な自然に育まれた歴史文化の課題</b>													
・自然環境・周辺環境の保全と保全に関わる市民・団体の高齢化													
<b>人と海との関わりが息づく歴史文化の課題</b>													
・海に関わる祭礼芸能の記録化、担い手育成や学校教材への活用などの措置が必要である ・漁業集落の景観保存のための取り組みが進捗していない ・漁業に関わる技術や衣食住・年中行事等の保存と魅力発信が十分ではない													
<b>山と里の信仰と交流が培った歴史文化の課題</b>													
・山や里の集落で継承されてきた行事や慣行の把握が進んでいない													
<b>田辺城下町と里によって形づくられた歴史文化の課題</b>													
・田辺城下と各地を結ぶ街道の現状確認調査が進んでいない ・田辺城を核とした城下町らしい魅力発信のため、田辺城址とその周辺の総合的な整備が必要である ・歴史文化遺産活用の推進のための利便性確保、施設整備などが課題である													
<b>舞鶴鎮守府開庁によって築かれた歴史文化の課題</b>													
・赤れんが博物館の老朽化への対応とともに、新たな研究成果などを含めた大規模な展示のリニューアルと拡充が必要である ・近代化遺産である赤れんが倉庫群施設を含め近代化遺産の耐震補強などの整備と、これらの歴史文化遺産を巡るルートの開発が進んでいない													
<b>引揚者を迎え入れた歴史文化の課題</b>													
・引揚記念館収蔵資料などの近現代資料保存のための措置が必要とされる ・収蔵資料の保存、引揚体験者の口述資料の記録保存とアーカイブ構築、既存資料の整理が必要である ・引き揚げの記憶を全国に発信するため、一層の情報発信が必要とされる													
<b>方針5 歴史文化ストーリーを構成する関連文化財群の保存・活用を進める</b>													
<b>全体</b>													
50	歴史文化遺産と周辺の海や山が一体となった活用方策の検討	舞鶴湾に関わる歴史文化遺産と周辺の海や山が一体となって活用できるよう、散策路整備やマップ作成等の活用方策を検討する				◎	◎	◎	■	■	市費		
51	関連文化財群の歴史文化ストーリーの発信	市民や来訪者が関連文化財群を周遊できるよう、SNSなどを活用して、必要な情報発信を進める				◎	◎	◎	■	■	市費		
<b>多様な自然に育まれた歴史文化の保存・活用</b>													
52	自然環境保全活動団体等への支援	講師派遣や市の顕彰制度および外部の助成制度の活用等、自然環境保全に取り組む団体の支援を進める自然環境保全に取り組む団体の支援を進める	○		○	◎	◎		■		国補助・市費・財団補助		
<b>人と海との関わりが息づく歴史文化の保存・活用</b>													
53	海にまつわる祭礼芸能・伝統行事等の記録作成	雄島まいり等舞鶴に特徴的な海にまつわる祭礼芸能・伝統行事の記録保存を進め、その魅力を学び発信する素材とする	○	○	◎	○			■	■	国補助・府補助		
54	特徴的な漁業集落の町並み・文化的景観調査	吉原や成生などの特徴的な漁業集落の町並み、生業と生活と景観が一体となった文化的景観調査を進める		◎		◎	◎		■	■	国補助・府補助・市費		
55	体験学習推進による観光対応	海とともに生きてきた舞鶴の特性を活かし、観光客にも対応した海の歴史文化学習体験の取り組みを拡充する		△	△		◎		■	■	市費		
<b>山と里の信仰と交流が培った歴史文化の保存・活用</b>													
56	民俗文化財の掘り起こしと調査記録事業	「辻堂」「阿弥陀堂」等の舞鶴に特徴的な建造物・民俗慣行等の調査を大学や市民と協働で進め、webを活用した成果公開等、広くその魅力発信に努める	◎	◎	○	○			■	■	市費・団体費		
<b>田辺城下町と里によって形づくられた歴史文化の保存・活用</b>													
57	街道沿いの道標等の把握調査	街道沿いに残る道標や地蔵などの身近な生活の場にある石造物の把握調査を市民協働で進める	◎	◎	△	○			■	■	国補助・市費		
58	田辺城ガイド養成講座の拡充	子どもたちを含めた市民を対象に田辺城の歴史を学ぶ機会を提供し、次世代の田辺城ガイドを養成する	◎		◎	○			■	■	市費		
59	伝統文化の担い手育成	地域の祭礼などの伝統文化を継承するため、祭礼の動画作成や後継者育成講座の開催など、担い手育成手法を検討する	○	△	△	◎	◎		■	■	市費		
60	田辺城址とその周辺の魅力発信	田辺城址を核とした城下町らしい魅力発信のため、資料館の展示の拡充、「歴史のみち」や、休憩所等田辺城周辺の総合的な整備を継続して進める	○	○	○	◎	◎		■	■	国補助・市費		
61	糸井文庫活用事業	展示施設の整備等、「糸井文庫」の魅力を活かすための活用方法を検討する			○	◎	◎		■	■	国補助・市費		
62	伝統文化等の復活	城下町の町人文化である子供歌舞伎の復活など伝統文化等の復活に向けた取り組みを検討する	○	○	◎	○	○		■	■	国補助・府補助・市費		
<b>舞鶴鎮守府開庁によって築かれた歴史文化の保存活用</b>													
63	旧舞鶴鎮守府関連文化財群の総合調査	舞鶴要塞群の史跡指定にむけて舞鶴鎮守府関連歴史文化遺産群の総合的な把握調査を進める	△	○	△	◎			■	■	国補助・市費		
64	日本遺産構成文化財活用のための環境整備	新たに追加認定を受けた舞鶴鎮守府島嶼施設の活用方法の検討やアクセス手段の整備等、日本遺産構成文化財の活用に向けた取り組みを進める				○	◎		■	■	国補助		
65	赤れんが博物館の展示拡充	舞鶴鎮守府の歴史文化を活かすため、赤れんが博物館の展示内容の充実や収蔵庫・バックヤードの確保も含め、リニューアルに向けた検討を進める			△	△	○	◎		■	国補助		
66	歴史的建造物の新たな活用機会の創出	赤れんが倉庫等歴史的建造物活用イベントを継続的に実施するとともに、ユニークベンチャーやサブカルチャー等新たな活用機会の創出に努める	△	◎	◎		◎		■	■	団体費		
67	赤れんが周辺の景観づくり	赤れんが周辺等まちづくり基本計画に基づく赤れんがパークを核とした旧海軍ゆかりのまちらしい景観づくりを進める	○	○	○	◎	◎		■	■	国補助・市費		
68	重要文化財赤れんが倉庫群等耐震補強・修理工事	文部科学省所管赤れんが倉庫等の活用を見据えた耐震補強や修理工事、設備更新を実施する			◎		◎	◎	■	■	国補助・府補助・市費		
<b>引揚者を迎え入れた歴史文化の保存・活用</b>													
69	引揚関係資料調査の継続と展示内容の更新	海外資料調査を継続して実施し、調査成果を含め最新の学術的成果を活用し展示内容の更新を進める			○		◎		■	■	国補助・市費		
70	平和学習教材の開発	サブカルチャーを活用するなど新しい効果的な平和学習教材の開発を進める			△	△		◎	■	■	市費		
71	食を通じた舞鶴引き揚げの日の歴史学習	子どもたちが舞鶴引き揚げの日の歴史を体感するための「舞鶴引き揚げの日」給食を継続して実施する	◎				◎		■	■	市費		
72	舞鶴引揚記念館収蔵資料保存活用計画の改定	「舞鶴引揚記念館収蔵資料保存活用計画」を見直し必要な改定を行う			○		◎		■	■	市費		
73	引揚記念館語り部の育成	子どもたちが引き揚げの記憶を学び、語り部として引揚記念館で活躍する機会を継続して進める	◎	○	◎	◎	◎		■	■	市費		
74	近現代資料の保存の推進	引揚記念館の資料など近現代資料の保存のための最適手法を検討して未来に引き継ぐ			○		◎		■	■	国補助		
75	引揚体験の記録保存	引き揚げ体験者の口述資料の記録保存、既存データ整理によるデジタルアーカイブスの構築を目指す			○		◎		■	■	国補助		
76	平和学習誘致の継続	市外からの教育旅行による平和学習誘致を継続する					◎		■	■	市費		